目次

1.	検査依頼要綱	
	1.1 検査依頼内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	1.2 検査案内書記載内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	1.3 患者の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	1.4 検体の提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	1.5 生理検査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	1.6 検査結果の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	1.7 緊急検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	1.8 検査の追加・中止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	1.9 保存可能期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	1.10 採取に使用された材料の廃棄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	1.11 検査結果の問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	1.12 院外検査委託・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	1.13 個人情報保護方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	1.14 インフォームドコンセント・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2.	索引	
	2.1 アルファベット順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	2.2 五十音順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1	2
3.	生化学検査	
	3.1 酵素関連物質・・・・・・・・・・・・・・・・・・1	5
	3.2 蛋白・膠質物質、脂質関連物質、生体色素・・・・・・・・・・1	6
	3.3 低分子窒素化合物、電解質・・・・・・・・・・・・・・1	7
	3.4 糖質関連物質、生体微量金属、負荷試験、その他・・・・・・・・1	8
4.	免疫学的検査	
	4.1 免疫グロブリン、補体、血漿蛋白等・・・・・・・・・・1	9
	4.2 感染症関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	0
	4.3 腫瘍関連検査、ホルモン関連検査・・・・・・・・・・・2	1
5.	血液ガス、薬物検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	2
6.	一般検査	
	6.1 尿一般、便、寄生虫・・・・・・・・・・・・・・・・・2	3
	6.2 穿刺液検査(胸水・腹水、関節液、その他穿刺液、髄液)・・・・・・・2	4
7.	血液学的検査	
	7.1 血液一般・形態検査、凝固一般検査、凝固・線溶系検査・・・・・・・2	5
	7.2 骨髄検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	6

	7. 3	フロ	ーサ	トイ	1	メ	1	IJ -	— <i>7</i>	検2	査	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 2	6
8.	. 輸血	関連	検査	ī.	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 2	7
9.	. 微生	物関	連核	查																													
	9. 1	一般	細菌	植検	査	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 2	8
	9.2	抗酸	菌核	查	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 2	8
	9.3	真菌	f検査	Ē•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 2	9
	9.4	遺伝	子核	查	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 2	9
	9.5	迅速	三、 こ	スク	リ	_	=	ン	グ	`検	查	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	• 3	0
1	0. 病理	里関i	車検	查																													
	10.1	細脂	包診村	負查	: ·	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		• 3	1
	10. 2	病理	里組糸	哉検	渣	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•		•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	• 3	2
	10.3	病理	関連	車遺	i伝	子	検	査						•	•	•	•									•	•		•			• 3	2
1	1. 生理	里検	查																														
	11. 1	肺機	幾能相	食查	÷ •	•	•	•						•	•	•	•				•	•			•	•	•					• 3	3
	11. 2	心律	100	食查	÷ •	•	•	•						•	•	•	•				•				•	•	•					• 3	3
	11. 3	神彩	E伝:	 算検	查	•	•	•						•	•	•	•					•				•	•					• 3	3
	11.4	超音	子波村	食查	÷ •	•	•	•						•	•	•	•				•	•			•	•	•					• 3	4
	11.5	聴力	力検3	奎・	•								•		•			•			•	•				•				•		• 3	4
	11.6	その)他(の検	查	•	•							•	•	•											•					• 3	5
13	2. 時間		実施	検ィ	至項	目	_	·覧	į																								
	12. 1	時間	引外領	実施	į検	査	項	目																	•							• 3	6
	12. 2	時間	引外纟	条件	:付	実	施	検	査	項	目	_	覧																			• 3	9
13	3. 時間																																
	4. パコ																																
	14. 1	運月	月方沿	去•																												• 4	1
	14. 2	こパニ	ニツク	クノ	ミリ	ユ	_	報	告	_	覧																					• 4	2
1	5. 菌和																																
	6. 採[
	7. 採耳																																
	8. 主																																
	18. 1															•																• 4	6
	18. 2																																
	18. 3																																
19	9. 検3																																
	0. 電-																																

1. 検査依頼要綱

- 1.1 検査依頼内容
 - 1)検査の依頼について

検体検査は電子カルテの検体検査より、検査項目を依頼してください。 生理検査は電子カルテの画像生理より、検査項目を依頼してください。 病理検査は電子カルテの病理組織診・病理細胞診より、検査項目を依頼して ください。

電子依頼の画面見本は、20.を参照。

- 2) 検体採取容器について 出力された採取ラベルに、記載されている採取管、採取容器をご使用下さい。
 - 検体検査、細菌検査、病理・細胞診検査のラベルは以下の通りです。



3) 採取ラベルについて





検体検査

細菌検査

病理·細胞診

採血管又は採取容器を赤丸で印をつけています

4)依頼書について

原則、電子カルテからの検査依頼となっています。 システムダウン等、不測の場合、下記の伝票を使用します。

- (1)種類
 - 1. 検体検査・生理検査依頼書(非常時用) 院内検体検査依頼時に使用してください。
 - 2. 血液ガス伝票(短冊) ガス検査を依頼される場合にご利用下さい。
- (2) 伝票記入方法

患者 ID、氏名、生年月日、性別、依頼元、主治医、提出年月日を記入して下さい。 依頼項目チェック欄に○、レ点等を付けてください 5) 手書き検体ラベル記入要綱

原則、採取ラベルを添付した検体を提出してください。不測の事態で、手書き検体 ラベルで提出される場合は、下記項目をはっきりと記入し、提出して下さい。

・ 患者 I D

科名

氏名

• 主治医

性別

年齢

1.2 検査案内書記載内容

- 1)検体量
 - ・再検査分を考慮して設定しております。
 - ・血清・血漿が検査材料の場合、必要量の約3倍の血液を採血して下さい。
- 2)保存条件

検体採取から検査室に搬送されるまでの保存条件です。

3) 基準範囲

「正常参考値、及び判定基準」は「基準範囲」で表示しております。

4) 検査所要日数

検体を提出して頂いた日を起算日として結果を報告させて頂く日数です。

5) 検体検査料

検体検査実施料と検体検査判断料に区分されており、検査項目毎に実施料を掲載 しております。

6) 採取·提出条件

正確な検査結果をご報告するために、検体採取・提出時に留意して頂きたい事項です。

7) 追加可能時間

確実な検査結果を報告する事ができる期間です。

8) 備考

その他、注意事項等を記載しています。

- 9)緊急報告検査値範囲(パニックバリュー)
 - ★の項目は、緊急報告検査値が設定されております。(42ページ参照)
 - ・詳細は、41~42ページを参照ください。
- 10) 時間外測定対象項目

の項目は時間外にも対応しています。

11)検査前注意事項

生理検査について、検査を行う上での患者に行っていただくことを注意事項に 記入しています。

12)検査所要時間

検査に必要な目安の時間です。

1.3 患者の準備

1)検体検査

早朝、空腹時に採血を行ってください。ただし、別途指示がある場合は指示に従ってください。詳細は各検査項目の「採取・提出条件」をご参照ください。

2)細菌検査

無菌的に採取してください。詳細は各検査項目の「採取・提出条件」をご参照 ください。

3) 病理検査

各検査項目の「採取・提出条件」をご参照ください。

4) 生理検査

各検査項目の「検査前の注意事項」をご参照ください。

1.4 検体の提出

1) 生化学・免疫、血液・凝固検査

時間内:平日7時30分から15時30分

時間外:土日祝日及び、平日15時30分から翌日7時30分

2) 輸血·一般、細菌検査

時間内:平日8時30分から15時30分

時間外:土日祝日及び、平日15時30分から翌日8時30分

3)病理検査

時間内:平日8時30分から17時15分

時間外:土日祝日及び、平日17時15分から翌日8時30分

- ・外来:2F採血・採尿室経由もしくは直接、2F検体検査室へ提出して下さい。
- ・病棟:2F検体検査室へ提出して下さい。
 - ※上記以外の緊急検査検体は依頼元から直接、2F検体検査室へ提出して下さい。但 し、手術室検体は電話連絡をするとともにダムウェーターにて病理検査室へ降ろ して下さい。また、1F救急外来の検体については2F検査室へ提出してください。
 - ※救急外来以外のエアシュータによる採血管や検体の搬送は、認めていません。 必ず検体検査室へ持参下さい。

1.5 生理検査について

時間内:平日8時30分から17時15分 ※時間外は対応しておりません。

- 1)外来の患者は原則各検査の受付順に検査を行いますが、検査の種類、患者の状態によって順番が変わる事があります。
- 2) 入院の患者は、検査を行う場合生理検査室より各病棟へ連絡します。
- 3)検査の時間等の要望については、検査依頼時にお伝えください。
- 4)入院の患者の心臓、血管エコーは基本的に午後から検査を行います。午前中の検査 を希望の場合は事前にお問い合わせ下さい。

1.6 検査結果の報告

結果報告に要する時間のおおよその目安 (検体到着後)

血液一般検査:10分 生化学検査:40分 免疫検査:65分

凝固検査:30分 細菌検査(迅速検査):10~40分

再検査が必要な時や検査項目により、要する時間が異なります。

詳しくは、検査部に連絡ください。

1.7 緊急検査

原則、時間内であればすべての検査が、検体到着後、即検査を実施するため、全ての 検査が迅速扱いとしています。その中でも、さらに緊急を要する検査については、 緊急検査として取り扱います。以下の運用を遵守、ご理解ください。

1)検体の受け渡し

必ず、事前の電話連絡または、検体を検査部に受け渡す時に、緊急検査である ことを伝えてください。

2) 結果報告

迅速検査より優先的に検査を行います。検体到着より、血液一般検査は5分、 生化学検査は30分程度で結果報告となります。

1.8 検査の追加・中止

検査追加依頼の場合、新規でオーダーをし、検査部に患者 ID、患者氏名、追加検査項目をご連絡ください。口頭のみによる依頼には対応できません。依頼された追加検査が不可能な場合は、ご相談させていただきます。検査の中止は、HIS上で未実施または発行済みの場合、医師が実施してください。実施済みの場合は検査部で検査中止処理を行います。

1.9 保存可能期間

検体を検査部で保存する最長の期間です。原則以下のとおりになります。詳しくは、 検査部に連絡ください。

生化学的検査・免疫学的検査・薬物検査:冷蔵1週間

血液ガス:該当なし

一般検査:(尿・便・寄生虫)当日、(穿刺液):冷蔵1週間

血液学的検査:冷蔵2日間

フローサイトメトリー検査: 当日

輸血関連検査:(血液型・不規則抗体)冷蔵2週間、(クロスマッチ用)冷蔵3日間

(輸血前保存用)凍結2年間

微生物関連検査:培養検体(一般細菌・抗酸菌・真菌)冷蔵3日間、

(迅速検査)該当なし 分離菌株 室温2週間

細胞診・病理検査:冷蔵1週間

1.10 採取に使用された材料の廃棄

「好生館病院感染症ガイドライン&マニュアル」に基づき、安全に廃棄してください。

1.11 検査結果の問い合わせ

尿一般検査:1675 血液凝固検査:1680

形態検査:1683 生化学・免疫検査:1681

輸血検査:1679 細菌検査:1684、1685

病理検査:1682 外注検査:1677

生理検査:1180

※検査関連の対応窓口

検査関連における質問および苦情等は、各部門責任者を窓口とさせていただきます。

1.12 院外検査委託先(コンサルテーション先を含む)

株式会社 エスアールエル

株式会社 ビー・エム・エル

株式会社 シー・アール・シー

公益財団法人 佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センター

株式会社 ネクシス 心電図解析センター

久留米大学病院 病理部

株式会社 ケーズメディカル 心電図解析センター

株式会社 スリープメディカル

1.13 個人情報保護方針

当館は患者さんの個人情報保護に全力で取り組んでいます。当館は個人情報を下記の 目的に利用し、その取扱いには細心の注意を払っています。

当館における個人情報の利用目的

- 1) 医療提供
- 2)診療費請求のための事務
- 3) 当館の管理運営業務
- 4)企業等からの委託を受けて行う健康診断等における、企業等へのその結果の通知
- 5) 医師賠償責任保険などに係る医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は 届出等
- 6) 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- 7) 当館内において行われる医療実習への協力
- 8) 医療の質の向上を目的とした当館内での症例研修
- 9) 外部監査機関への情報提供

好生館職員のためのポケットマニュアルより一部抜粋

1.14 インフォームドコンセント

同意書が必要な検査(遺伝子検査、外注検査など)は説明と同意書をとってください。

2. 索引

2.1アルファベット順

ABR (新生児聴力検査) 34 CK-MB (心筋由来 CK) 15 BI/CAVI 35 C1 (クロール) 17 BR (聴性脳幹反応) 34 CPX (運動能力) 33 /C 比 16 CRE (クレアチニン) 17 FP(α フェトプロテイン) 21 CRP (C 反応性蛋白) 19 FP レクチン分画 21 CV (クロージングボリューム) 33 G 比 16 CYFRA LB (アルブミン) 16 (サイトケラチン19 フラグメント) 21 LP (アルカリフォスファターゼ) 15 DIFF (血液像) (機械・目視分類) 25 MY (アミラーゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 PTT (活性化部分トロンボプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 ST (GOT) 15 D-ダイマー 25 TIII (アンチトロンビンIII) 25 E- ページ eGFR (推算 GFR) 17 ence Jones 蛋白 23 EGFR 遺伝子変異解析 32 NP (ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F (受け、ア・ジーン) 18 (オルシウム) 17 FDP 25 (本ージ) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 A(補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリョードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 A126 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 BC (血液一般検査) 25 GLU(糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 CR (24 時間) GOT (AST) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbAlc (ヘモグロビン Alc) 18 EA 19-6 (18 EA 21 HBc 抗体 20	A	ページ	С	~-:
BI/CAVI 35 C1(クロール) 17 BR (聴性脳幹反応) 34 CPX (運動能力) 33 /C 比 16 CRE (クレアチニン) 17 FP (A 郡 β 溶連菌迅速試験定性	30	CK(クレアチンキナーゼ)	15
BR (標性脳幹反応) 34 CPX (運動能力) 33 (/C 比 16 CRE (クレアチニン) 17 FP (α フェトプロテイン) 21 CRP (C 反応性蛋白) 19 FP レクチン分画 21 CV (クロージングボリューム) 33 G 比 16 CYFRA (サイトケラチン19 フラグメント) 21 LP (アルカリフォスファターゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 MY (アミラーゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 ST (GOT) 15 D-BIL (直接ビリルビン) 16 FT (信性化部分トロンボプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 FT (IT (アンチトロンビンIII) 25 E	AABR(新生児聴力検査)	34	CK-MB(心筋由来 CK)	15
(C 比 16 CRE (クレアチニン) 17 FPP (αフェトプロテイン) 21 CRP (C 反応性蛋白) 19 FP レクチン分画 21 CV (クロージングポリューム) 33 G 比 16 CYFRA (サイトケラチン19 フラグメント) 21 LP (アルカリフォスファターゼ) 15 DIFF (血液像) (機械・目視分類) 25 MV (アミラーゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 PTT (活性化部分トロンポプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 STIII (アンチトロンビンIII) 25 E ページ eGFR (推算 GFR) 17 EDFR (進行を要異解析 32 MP (ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 E ページ eGFR (機能的残気量) 33 (補体蛋白) 19 Fic (機能的残気量) 33 (補体蛋白) 19 Frc (機能的残気量) 33 (福休蛋白) 19 Frc (機能的残気量) 33 (福休蛋白) 19 Frc (機能的残気量) 33 (福休蛋白) 17 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 A15-3 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D抗原・毒素定性 30 HbAlc (ヘモグロビン Alc) 18 EA 11 Bc 抗体 20	ABI/CAVI	35	C1(クロール)	17
FP(αフェトプロテイン) 21 CRP(C 反応性蛋白) 19 FP レクチン分画 21 CV(クロージングポリューム) 33 G 比 LB(アルブミン) 16 (サイトケラチン 19 フラグメント) 21 LP(アルカリフォスファターゼ) 15 D (サイトケラチン 19 フラグメント) 21 LT(GPT) 15 DIFF(血液像) (機械・目視分類) 25 MY (アミラーゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 PTT (活性化部分トロンポプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 ST (GOT) 15 D-ダイマー 25 TIII (アンチトロンビンIII) 25 E	ABR(聴性脳幹反応)	34	CPX(運動能力)	33
FP レクチン分画 21 CV (クロージングボリューム) 33 G 比 16 CYFRA (サイトケラチン 19 フラグメント) 21 LP (アルカリフォスファターゼ) 15 D IFF (血液像) (機械・目視分類) 25 MY (アミラーゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 PTT (活性化部分トロンボプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 ST (GOT) 15 D-ダイマー 25 TIII (アンチトロンビンIII) 25 E GFR 遺伝子変異解析 32 MP (ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F C WN (尿素窒素) 17 FDP 25 Na (地体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 (機能的残気量) 33 (a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 A15-3 21 GA (グリコアルブミン) 18 GP (仏書 時間) (クレアチニンクリアランス) 18 GP (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbAIc (ヘモグロビン A1c) 18 EA 11 HbC 抗体 20	A/C 比	16	CRE(クレアチニン)	17
(B 比 16 CYFRA (サイトケラチン 19 フラグメント) 21 LP (アルカリフォスファターゼ) 15 D IFF (血液像) (機械・目視分類) 25 MY (アミラーゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 PTT (活性化部分トロンボプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 ST (GOT) 15 D-ダイマー 25 TIII (アンチトロンビンIII) 25 E ページ eCFR (推算 GFR) 17 EP (数) PR (機能の残気量) 17 FDP 25 MA (編体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 MA (編体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 MA (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリョードサイロニン) 21 MA (25 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 MA (25 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 MA (26 4 時間) GOT (AST) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 Hb (ハモグロビン A1c) 18 EA 18 CR (本の 18 5 18 5 18 5 18 5 18 5 18 5 18 5 18	AFP(αフェトプロテイン)	21	CRP(C 反応性蛋白)	19
LB(アルブミン) 16	AFP レクチン分画	21	CV(クロージングボリューム)	33
LP(アルカリフォスファターゼ) 15 D ペーレース LT (GPT) 15 DIFF (血液像) (機械・目視分類) 25 MY (アミラーゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 PTT (活性化部分トロンボプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 ST (GOT) 15 D-ダイマー 25 IT (アンチトロンビンIII) 25 E ペー ence Jones 蛋白 23 EGFR 遺伝子変異解析 32 MP(ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F ペー UN (尿素窒素) 17 FDP 25 E ページ Fe(鉄) 18 3 (補体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 4 (補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) 21 A15-3 21 G ペー A19-9 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 D 抗原・毒素定性 30 Holate (ヘーモグロビン A1c) 18 D 培養検査 30 Holate (ヘーモグロビン A1c) 18 EA	AG 比	16	CYFRA	
DIFF (血液像) (機械・目視分類) 25	ALB(アルブミン)	16	(サイトケラチン 19 フラグメン	/ト)21
MY(アミラーゼ) 15 DLCO (肺拡散能力) 33 PTT (活性化部分トロンボプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 ST (GOT) 15 D-ダイマー 25 E ページ E GFR (推算 GFR) 17 ence Jones 蛋白 23 EGFR 遺伝子変異解析 32 NP(ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F ページ HOLCO (株能的残気量) 18 33 (補体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 4 (補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 (a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 18 CR (24 時間) (7 円 位 大力 に 18 円 で 18	ALP(アルカリフォスファターゼ)	15	D	ペー
PTT (活性化部分トロンボプラスチン) 25 D-BIL (直接ビリルビン) 16 ST (GOT) 15 D-ダイマー 25 TIII (アンチトロンビンIII) 25 E ページ eGFR (推算 GFR) 17 ence Jones 蛋白 23 EGFR 遺伝子変異解析 32 NP (ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F ページ FDP 25 (株体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 4 (補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリョードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 A15-3 21 G ページ A19-9 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	ALT (GPT)	15	DIFF(血液像)(機械・目視分類)	25
ST (GOT) 15 D-ダイマー 25 T (M (アンチトロンビンM) 25 E ページ eGFR (推算 GFR) 17 ence Jones 蛋白 23 EGFR 遺伝子変異解析 32 NP(ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F ページ FDP 25 (株権・蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 (4 (補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリョードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 A15-3 21 G ページ A19-9 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 11 Hbc 抗体 20	AMY(アミラーゼ)	15	DLCO(肺拡散能力)	33
TIII (アンチトロンビンIII) 25 E ページ eGFR (推算 GFR) 17 eence Jones 蛋白 23 EGFR 遺伝子変異解析 32 NP (ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F UN (尿素窒素) 17 FDP 25 スージ Fe (鉄) 18 3 (補体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 4 (補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 A19-9 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	APTT (活性化部分トロンボプラスラ	チン) 25	D-BIL(直接ビリルビン)	16
eGFR(推算 GFR) 17 ence Jones 蛋白 23 EGFR 遺伝子変異解析 32 NP(ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F ページ UN(尿素窒素) 17 FDP 25 3(補体蛋白) 19 Fib(フィブリノーゲン) 25 4(補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリョードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 A15-3 21 G ペー A19-9 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU(糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	AST (GOT)	15	D-ダイマー	25
ence Jones 蛋白 23 EGFR 遺伝子変異解析 32 P(ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F ペー ペー UN(尿素窒素) 17 FDP 25 Fe (鉄) 18 3(補体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 4(補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 fa (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリョードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EEA 21 HBc 抗体 20	ATⅢ(アンチトロンビンⅢ)	25	Е	ペー
NP(ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 21 F ページ NP(ヒト脳性 Na 利尿ペプチド) 25 PDP 25 RDP RDP 25	}	ページ	eGFR(推算 GFR)	17
UN(尿素窒素) 17 FDP 25 Pe (鉄) 18 33 (補体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 4 (補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 a (カルシウム) 17 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) 21 A125 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 A15-3 21 G ペー A19-9 21 GA (グリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	BenceJones 蛋白	23	EGFR 遺伝子変異解析	32
Pe (鉄) Fe (鉄) 18 3 (補体蛋白) 19 Fib (フィブリノーゲン) 25 4 (補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 33 33 33 34 34 34 3	BNP(ヒト脳性 Na 利尿ペプチド)	21	F	~~-
19 Fib(フィブリノーゲン) 25 4(補体蛋白) 19 FRC (機能的残気量) 33 33 (有体蛋白) 17 FT3 (遊離トリョードサイロニン) 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 GA(クリコアルブミン) 18 BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 18 the	BUN(尿素窒素)	17	FDP	25
4(補体蛋白)19FRC (機能的残気量)33a(カルシウム)17FT3 (遊離トリヨードサイロニン)21A12521FT4 (遊離サイロキシン)21A15-321GペーA19-921GA (グリコアルブミン)18BC (血液一般検査)25GLU (糖)18CR (24 時間)GOT (AST)15(クレアチニンクリアランス)18GPT (ALT)15D 抗原・毒素定性30HペーD 培養検査30HbA1c (ヘモグロビン A1c)18EA21HBc 抗体20		ページ	Fe(鉄)	18
(a(カルシウム) 17 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) 21 (A125) 21 FT4 (遊離サイロキシン) 21 (A15-3) 21 G ペー (A19-9) 21 GA (グリコアルブミン) 18 (BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 (CR (24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 (力 培養検査 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 (EA 21 HBc 抗体 20	C3(補体蛋白)	19	Fib(フィブリノーゲン)	25
A125 21 FT4(遊離サイロキシン) 21 A15-3 21 G ペーA19-9 21 GA(グリコアルブミン) 18 BC(血液一般検査) 25 GLU(糖) 18 CR(24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 H ペーD 培養検査 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	四(補体蛋白)	19	FRC(機能的残気量)	33
A15-3 21 G ペー A19-9 21 GA(グリコアルブミン) 18 BC(血液一般検査) 25 GLU(糖) 18 CCR(24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	Ca(カルシウム)	17	FT3(遊離トリヨードサイロニン)	21
A19-9 21 GA(グリコアルブミン) 18 BC(血液一般検査) 25 GLU(糖) 18 CR(24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 H ペー D 培養検査 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	CA125	21	FT4(遊離サイロキシン)	21
BC (血液一般検査) 25 GLU (糖) 18 CR (24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 H ペー D 培養検査 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	CA15-3	21	G	~~-
CR (24 時間) GOT (AST) 15 (クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 H ペー D 培養検査 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	CA19-9	21	GA(グリコアルブミン)	18
(クレアチニンクリアランス) 18 GPT (ALT) 15 D 抗原・毒素定性 30 H ペー D 培養検査 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	CBC(血液一般検査)	25	GLU(糖)	18
D 抗原・毒素定性 30 H ペー D 培養検査 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	CCR (24 時間)		GOT (AST)	15
D 培養検査 30 HbA1c (ヘモグロビン A1c) 18 EA 21 HBc 抗体 20	(クレアチニンクリアランス)	18	GPT (ALT)	15
EA 21 HBc 抗体 20	D 抗原・毒素定性	30	Н	ペー
	D培養検査	30	HbA1c(ヘモグロビン A1c)	18
HE(\neg J \rightarrow Z \rightarrow Z \rightarrow D \rightarrow HbF(\land \rightarrow Z \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow HbF(\land \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow HbF(\land \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow HbF(\land \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow HbF(\land \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow D \rightarrow HbF(\land \rightarrow D \rightarrow HbF(\land \rightarrow D \rightarrow	CEA	21	HBc 抗体	20
	CHE(コリンエステラーゼ)	15	HbF(ヘモグロビンF)	18

Н	ページ	0	ページ
HBs 抗原	20	OAE 検査	34
HBs 抗体	20	P	ページ
HBV DNA 定量	20	PBSC	26
HCV 抗体	20	PCT(プロカルシトニン)	20
HER2 遺伝子・蛋白(乳癌)	32	PIVKA II	21
HER2 遺伝子(胃癌)	32	PNPLA3	32
HDL-コレステロール(HDL-C)	16	PT(プロトロンビン時間)	25
HIV 抗原・抗体	20	PSA	21
HPC(造血前駆細胞数)	25	PSA F/T 比	21
HTLV-1 抗体	20	R	ページ
I	ページ	RPR 法(梅毒血清反応 RPR 法)	20
IgA(免疫グロブリン IgA)	19	RF(リウマチ因子)	19
IgE(非特異)	19	RS ウイルス抗原定性	30
IgG(免疫グロブリン IgG)	19	S	ページ
IgM(免疫グロブリン IgM)	19	SRPP(皮膚灌流圧測定)	35
IgM-HA 抗体	20	T	ページ
IP(無機リン)	17	T-AFP	21
IRI(インスリン)	21	T-BIL(総ビリルビン)	16
J	ページ	T・B・NK 百分率	26
JAK2V617F/CALR 変異解析	32	TC(総コレステロール)	16
K	ページ	TG(中性脂肪)	16
K(カリウム)	17	TIBC(総鉄結合能)	18
L	ページ	TP(総蛋白)	16
LD (LDH)	15	TP 法(梅毒血清反応 TP 法)	20
LDL-コレステロール(LDL-C)	16	TSH(甲状腺刺激ホルモン)	21
M	ページ	T細胞サブセット	26
MRSA スクリーニング	30	U	ページ
Mg(マグネシウム)	18	UA(尿酸)	17
N	ページ	UGT1A1	32
Na(ナトリウム)	17	V	ページ
NAP		VC+FVC(呼吸機能検査)	33
(好中球アルカリフォスファター	-ゼ) 25	数字・ギリシャ文字	ページ
N	ページ	24 時間心電図	33
NH ₃ (アンモニア)	17	24 時間 CCR	
0	ページ	(24 時間クレアチニンクリアラ)	/ス) 18

数字・ギリシャ文字	ページ
αフェトプロテイン(AFP)	21
β HCG	21
γ -GT	15
β-Dグルカン	20

2.2 五十音順		カ行	ページ
ア行	ページ	グリコアルブミン(GA)	18
アデノウイルス抗原定性(咽頭・結局	膜) 30	グルコース(Glu)	18
アデノウイルス抗原定性(糞便)	30	クレアチニン(CRE)	17
アミラーゼ(AMY)	15	クレアチニンクリアランス	
アルカリフォスファターゼ(ALP)	15	(24 時間) (CCR)	18
アルブミン(ALB)	16	クレアチンキナーゼ(CK)	15
アメーバ検査	23	クロージングボリューム(CV)	33
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	25	クロール(C1)	17
アンモニア(NH ₃)	17	クロストリジウム・ディフィシル	
胃癌 HER2 遺伝子	32	抗原定性	30
一般細胞診	31	クロスマッチ	27
一般脳波検査	35	蛍光抗体検査	32
インフルエンザウイルス抗原定性	30	携带型心電図検査	33
インスリン(IRI)	21	経皮酸素ガス分圧	35
運動能力(CPX)	33	頸部血管超音波検査	34
運動能力		血液一般検査(CBC)	25
(トレッドミル・エルゴメーター)	33	血液型	27
エタノール	18	血液型抗体価検査	27
エンドトキシン定量	20	血液像(機械・目視分類)(DIFF)	25
カ行	ページ	血液沈降速度	25
加算平均心電図検査	33	結核菌群核酸同定/LAMP 法	28
下肢動静脈超音波検査	34	血小板機能検査	25
ガス分析(血液ガス)	22	嫌気性菌培養・同定	28
活性化部分トロンボプラスチン(AP	TT) 25	好気性菌培養・同定	28
カリウム(K)	17	抗酸菌検査(塗抹鏡検)	28
カルシウム(Ca)	17	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	21
カルバマゼピン	22	甲状腺・副甲状腺超音波検査	34
肝硬度測定	34	好中球アルカリフォスファターゼ	
関節液検査	24	(NAP)	25
間接クームス	27	酵母様真菌薬剤感受性検査	29
気管支肺胞洗浄液細胞診	31	呼気一酸化窒素ガス分析	33
寄生虫卵鑑別	23	呼吸機能検査(VC+FVC)	33
寄生虫体鑑別	23	骨髄検査	26
機能的残気量(FRC)	33	コリンエステラーゼ(Ch-E)	15
胸水検査	24	コルチゾール	21

サ行	ページ	タ行	ページ
サイトケラチン 19 フラグメント		体液量測定	35
(CYFRA)	21	ターゲス(血糖日内変動)	18
細胞質内免疫グロブリン	26	耐糖能精密検査(インスリン)	18
細胞診(婦人科)	31	<u>体表超音波検査</u>	<u>34</u>
細胞診(喀痰)	31	タクロリムス	22
シクロスポリン	22	中耳機能検査	34
シゴキシン	22	中性脂肪(TG)	16
耳小骨検査	34	長時間心電計	33
出血時間	25	聴性脳幹反応(ABR)	34
術中迅速細胞診	31	聴力(簡易)検査	34
術中迅速組織診	32	聴力(気導)検査	34
術中モニタリング	33	聴力(気導・骨導)検査	34
上肢動静脈超音波検査	34	直接クームス	27
自律神経検査	33	直接ビリルビン(D-BIL)	16
終夜睡眠ポリグラフィー	35	ティンパノメトリー検査	34
新型コロナウイルス(遺伝子検査)	<u>29</u>	鉄(Fe)	18
新型コロナウイルス抗原定性	<u>30</u>	デングウイルス抗原定性	30
真菌検査(塗抹鏡検、分離培養・同)	定) 29	糖(GLU)	18
心筋由来 CK (CK-MB)	15	糖負荷試験	18
神経伝導速度	33	塗抹鏡検(一般細菌・抗酸菌)	28
新生児聴力検査(AABR)	34	塗抹鏡検(真菌)	29
心臟超音波検査	34	トランスサイレチン(プレアルブミ	ミン) 19
浸透圧	17	トロポニン I	21
睡眠脳波	35	ナ行	ページ
睡眠時無呼吸検査 簡易モニター	35	内分泌負荷試験(コルチゾール)	18
髄液検査	24	捺印細胞診	31
推算 GFR(eGFR)	17	ナトリウム(Na)	17
セルブロック	32	尿酸(UA)	17
総コレステロール(TC)	16	尿素呼気試験	23
総ビリルビン(T-BIL)	16	尿素窒素(BUN)	17
総蛋白(TP)	16	尿中ピロリ抗体	23
総鉄結合能(TIBC)	18	尿定性	23
造血器悪性腫瘍細胞(フローサイト)	26	尿沈渣	23
造血前駆細胞数(HPC)	25	乳癌 HER2 遺伝子	32
その他穿刺液検査	24	乳腺超音波検査	34

ナ行	ページ	ハイ
脳脊髄膜炎起炎菌夾膜多糖抗原	30	べい
ノロウイルス抗原定性	30	補包
ハ行	ページ	補包
肺炎球菌抗原定性(尿·髓液)	30	マイ
肺拡散能力(DLCO)	33	マイ
梅毒血清反応 TP 法	20	マイ
梅毒血清反応 RPR 法	20	マク
バルプロ酸ナトリウム	22	耳鳴
バンコマイシン	22	無核
ヒト脳性 Na 利尿ペプチド(BNP)	21	メト
ヒトメタニューモウイルス抗原定性	Ė 30	免疫
鼻汁好酸球数	25	免疫
皮膚再灌流圧測定(SRPP)	35	免疫
標準 12 誘導心電図検査	33	網法
標本診断	32	中年
表面免疫グロブリン(フローサイト)) 26	薬剤
病理解剖	32	薬剤
病理組織	32	誘系
フィブリノーゲン(Fib)	25	遊离
フェニトイン	22	遊离
フェリチン	19	輸血
負荷心電図	33	ライ
不規則抗体検査	27	リウ
腹水検査	24	レシ
腹部血管超音波検査	34	レラ
腹部超音波検査	34	ロタ
プレアルブミン(トランスサイレチ	ン) 19	
プレセプシン	20	
プロカルシトニン(PCT)	20	
プロトロンビン時間(PT)	25	
分離培養・同定(真菌)	29	
ヘモグロビン Alc (HbAlc)	18	
ヘモグロビン F(HbF)	18	
便潜血反応	23	
便中好酸球	23	

ハ行	ページ
ベンスジョーンズ蛋白	23
補体蛋白 C3	19
補体蛋白 C4	19
マ行	ページ
マイコプラズマ抗原定性	30
マイコプラズマ抗体(IgM)	20
マグネシウム(Mg)	18
耳鳴検査	34
無機リン(IP)	17
メトトレキサート	22
免疫グロブリン IgA	19
免疫グロブリン IgG	19
免疫グロブリン IgM	19
網赤血球数(レチクロ)	25
ヤ行	ページ
薬剤感受性試験(一般細菌)	28
薬剤感受性試験(酵母様真菌)	29
誘発電位検査	33
遊離サイロキシン(FT4)	21
遊離トリヨードサイロニン(FT3)	21
輸血前保存用	27
ラ行	ページ
リウマチ因子	19
レジオネラ抗原定性	30
レチクロ(網赤血球数)	25
ロタウイルス抗原定性(糞便)	30

- 3. 生化学検査
- 3.1 酵素関連物質

J-/,	検査項目	材料	検体量 nL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
1	★AST (GOT)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	JSCC 標準化 対応法	13-30U/L	1	17	-	6日間	溶血の場合、高値になります。
2	★ALT (GPT)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	JSCC 標準化 対応法	男:10-42U/L 女:7-23U/L	1	17	-	6 日間	
3		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)			124-222U/L					溶血の場合、高値になります。
708	★LD	胸水	0.1	胸水アングロット (滅菌スピッツ)	室温	IFCC 標準化	U/L	1	11	_	1日間	
718	(LDH)	腹水	0.1	腹水アングロット (滅菌スピッツ)		<u>対応法</u>	U/L	1			1 11 11	血清 LDH の結果がある場合、穿刺液/ 血清の値を報告します。
740		穿刺液	0.1	穿刺液アングロット (滅菌スピッツ)			U/L					
4	アルカリフォスファターゼ (ALP)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	IFCC 標準化 対応法	<u>38-113U/L</u>	1	11	_	1日間	
8	γ-GT	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	JSCC 標準化 対応法	男:13-64 U/L 女:9-32 U/L	1	11	-	5 日間	
13	コリンエステラーゼ (Ch-E)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	JSCC 標準化 対応法	男:240-486 U/L 女:201-421 U/L	1	11	-	6日間	
14		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)		JSCC 標準化	44-132U/L					
223	★アミラーゼ	随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)	室温	対応法 B-G-7PNP	U/L	1	11	_	6 日間	
720	(AMV)	腹水	0.1	腹水アングロット (滅菌スピッツ)	主価	4,6- エチリデン	U/L	1	11		<u>0</u> 口间	
737	37	穿刺液	0.1	穿刺液アングロット (滅菌スピッツ)		G7 法	U/L					
17	★クレアチンキナーゼ(CK)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	JSCC 標準化 対応法	男:59-248 U/L 女:41-153 U/L	1	11	-	6 日間	
388	CK-MB (心筋由来 CK)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	ラテックス比 濁法	5ng/mL以下	1	90	-	4 日間	

[★]がついている項目は、パニックバリューが設定されています。(42ページ参照)

3.2蛋白·膠質反応、脂質関連物質、生体色素

コート゛	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
5		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)			6.6-8.1g/dL			-		
707		胸水	0.1	胸水アングロット (滅菌スピッツ)			g/dL			-		
717		腹水	0.1	腹水アングロット (滅菌スピッツ)		Biuret 法	g/dL		11	-		血清総蛋白の報告がある場合、 穿刺液/血清を報告します。
724	総蛋白	穿刺液	0.1	穿刺液アングロット (滅菌スピッツ)	4 /2		g/dL			-		71.131K/ ==113.5 [M = 0.017.0
739	(TP)	関節液	0.1	関節液アングロット (滅菌スピッツ)	室温		g/dL	<u>1</u>		-	6日間	
803		随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)			mg/dL		7	-		尿中 CRE が同時に依頼された場合、P/C を報告します。
804		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿		ピロガロール レッド法	20.0-120.0mg/日		7	24 時間の蓄尿後、提出してくだ さい。尿量を連絡してください。		
835		髄液	0.1	髄液スピッツ (滅菌スピッツ)			10-20mg/dL		11	-		
6		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)			4.1-5.1g/dL			-		
709		胸水	0.1	胸水アングロット (滅菌スピッツ)		改良型 BCP 法	g/dL		11	-		
719	アルブミン (ALB)	腹水	0.1	腹水アングロット (滅菌スピッツ)	室温		g/dL	1		-	6日間	
232		随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)		免疫比濁法 -	$\mu \; {\rm g/mL}$		100	-		尿中 CRE が同時にオーダーされ ます。
136		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿		光反比倒伝	mg/日		<u>102</u>	24 時間の蓄尿後、提出してください。尿量を連絡してください。		
-	AG 比	血清	-	-	-	TP, ALB より演算	1. 32-2. 23	1	-	-	-	AG 比=ALB/(TP-ALB)
-	A/G 比	随時尿	_	-	-	尿中 ALB, CRE より換算	30.0 未満 mg/gCRE	1	_	-	6 日間	A/C 比=ALB/CRE
9	総コレステロール (TC)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	酵素法	142-248mg/dL	1	17	-	5 日間	
10	中性脂肪 (TG)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	酵素法	男:40-234mg/dL 女:30-117mg/dL	1	11	食事による影響を受けます。 空腹時採血をお願いします。	5 日間	
33	HDL-コレステロール (HDL-C)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	酵素修飾法	男:38-90mg/dL 女:48-103mg/dL	1	17	-	5 日間	
34	LDL-コレステロール (LDL-C)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	選択的可溶法	65-163 mg/dL	1	18	-	5 日間	
-	LDL-コレステロール計算 値	-	-	-	-	TC, HDL-C, TG より演算	65-163mg/dL	_	-	-	-	LDL-C=TC - HDL-C - TG/5
15		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)		バナジン酸	0.4-1.5mg/dL				1 - 111	
215	★総ビⅡルビン	穿刺液	0.1	穿刺液アングロット (滅菌スピッツ)	室温	酸化法	mg/dL	1	11	-	1日間	
736		血漿	0.02	ベビー毛細管 (毛細管)		分光光度法	mg/dL				-	
16	直接ビリルビン (D-BIL)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	バナジン酸 酸化法	0.0-0.4mg/dL	1	11	-	2 日間	

★がついている項目は、パニックバリューが設定されています。(42ページ参照)

3.3 低分子窒素化合物、電解質

3- ,	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲	所要日数	実施料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考	
27	★アンモニア (NH₃)	<u>全血</u>	2	紫 血算 2mL 氷冷 (EDTA-2K 入り)	-	BPB 法 (ドライケム)	75N-μg/dL以下	1	50	採血後、氷水に入れ、 速やかに検査部に提出。	-		
18		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)		ウレアーゼ	8.0-20.0mg/dL			-			
221	★尿素窒素 (BUN)	随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)	室温	UV 法 (アンモニア	mg/dL	1	11	-	6 日間		
51		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿		消去法)	g/日			24 時間の蓄尿後、提出してください。尿量を連絡してください。			
19		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)			男:0.65-1.07mg/dL 女:0.46-0.79mg/dL			-			
222	クレアチニン (CRE)	随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)	室温	酵素法	mg/dL	1	11	-	6 日間		
52		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿			g/日			24 時間の蓄尿後、提出してください。尿量を連絡してください。			
-	推算 GFR (eGFR)	-	_	-	_	血清 CRE より演算	$\mathrm{ml/min/1.73m^2}$	-	_	年齢が 18歳~120歳の場合報告	_	男:推算 GFR=194×CRE ^{-1.094} ×年齢 ^{-0.287} 女:推算 GFR=194×CRE ^{-1.094} ×年齢 ^{-0.287} ×0.739	
20		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)		酵素法	男:3.7-7.8mg/dL 女:2.6-5.5mg/dL			-			
225	尿酸 (UA)	随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)	室温	一 (ウリカーゼ・ HMMPS 法)	$\rm mg/dL$	1	11	-	6_日間		
53		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿		IIMMI 3 (五)	g/日			24 時間の蓄尿後、提出してください。 尿量を連絡してください。			
22	★ナトリウム (Na) ★クロール (Cl) ★カリウム (K)	血清	0.2	桃 5mL (プレーン管)	室温	イオン選択 電極法	138-145mmol/L 101-108mmol/L 3.6-4.8mmol/L	1	<u>22</u>	溶血の影響を受けます。 採血を行う場合、溶血しないよう ご注意ください	1日間		
132	ナトリウム(Na) クロール(C1) カリウム(K)	随時尿	0.2	尿コップ (TMC カップ)	室温	イオン選択 電極法	mmo1/日 mmo1/日 mmo1/日	1	22	-	1 日間		
224	ナトリウム (Na) クロール (C1) カリウム (K)	蓄尿	0.2	スピッツ蓄尿	室温	イオン選択 電極法	mmol/L mmol/L mmol/L	1	22	24 時間の蓄尿後、提出してください。尿量を連絡してください。	1日間		
836	クロール (C1)	髄液	0.1	髄液スピッツ (滅菌スピッツ)	室温	イオン選択 電極法	120-130mmo1/L	1	11	-	1日間		
25	ν-=/	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)			8.8-10.1mg/dL			-			
226	★カルシウム (Ca)	随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)	室温	アルセナゾ Ⅲ法	mg/dL	1	11	-	6_日間		
58		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿			g/日			24 時間の蓄尿後、提出してください。 い。尿量を連絡してください。			
21		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)			2.7-4.6mg/dL			-			
227	無機リン (IP)	随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)	室温	酵素法	mg/dL	1	17	-	6 日間		
54		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿			g/日			24 時間の蓄尿後、提出してください。 い。尿量を連絡してください。			
46	泪法厅	血清	0.2	桃 5mL (プレーン管)	学组	氷点降下法	275-290m0sm/Kg • H ₂ 0	1	<u>15</u>	-	3 日間		
60	浸透圧	随時尿	0.2	尿コップ (TMC カップ)	室温	小 小 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	50-1300mOsm/Kg • H ₂ O	1	1	16	-	3 口间	

★がついている項目は、パニックバリューが設定されています。(42ページ参照)

3.4 糖質関連物質、生体微量金属、負荷試験、その他

コート。	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
26		血漿	0.1	灰 2mL (NaF 入り)			79. 100/ H			食事による影響を受けます。	4 日間	
62		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)			73-109mg/dL			空腹時採血をお願いします。		
705		胸水	0.1	胸水アングロット (滅菌スピッツ)			mg/dL			-		
725	★グルコース	関節液	0.1	関節液アングロット (滅菌スピッツ)	室温	ヘキソ キナーゼ	mg/dL	1	11	-		
735	糖 (GLU)	穿刺液	0.1	穿刺液アングロット (滅菌スピッツ)	主価	TV 法	mg/dL	1	11	-	-	
834		髄液	0.1	髄液スピッツ (滅菌スピッツ)			50-70mg/dL			-		
806		随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)			mg/dL			-		
805		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿			g/日			24 時間の蓄尿後、提出してくだ さい。尿量を連絡してください。		
63	ヘモグロビン Alc (HbAlc)	<u>全血</u>	0.1	灰 2mL (NaF 入り)	室温	HPLC 法	NGAP 値:4.9-6.0%	1	49	-	2 日間	
66	ヘモグロビンF (HbF)	<u>全血</u>	0.1	灰 2mL (NaF 入り)	室温	HPLC 法	0.3-1.3%	1	60	-	2 日間	
106	グリコアルブミン (GA)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	酵素法	11. 0-16. 0%	1	55	-	<u>6</u> 日間	
29	鉄 (Fe)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	<u>Nitroso-PSAP</u> <u>法</u>	$40188\mu\;\text{g/dL}$	1	11	-	5 日間	
30	総鉄結合能 (TIBC)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	Nitroso-PSAP 法	男:253-365μg/dL 女:246-410μg/dL	1	11	-	2 日間	
31	マグネシウム	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	酵素法	1.8∼2.3mg/dL	1	11	_	6日間	
32	(Mg)	蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿		H4 2/1/12-1	50~200mg/日					
131	24 時間 CCR 〈体表面積補正〉	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	酵素法	男:62.0-108.0mL/min	1	-	24 時間の蓄尿後、提出してくだ	_	
151	24 時間クレチニン クリアランス	蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿	主価	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	女:57.0-78.0mL/min	1	1	さい。尿量を連絡してください。		
80-8 7	糖負荷試験	血漿	0.1	灰 2mL 負荷 (NaF 入り)	室温	ヘキソキナー ゼ UV 法	mg/dL	1	200	時間種を指定してください。	-	
91-9 9	ターゲス (血糖日内変動)	血漿	0.1	灰 2mL 日内 (NaF 入り)	室温	ヘキソキナー ゼ UV 法	mg/dL	1	-	時間種を指定してください。	-	
344- 351	耐糖能精密検査 (インスリン)	血漿	0.3	灰 2mL 負荷 (プレーン管)	室温	CLIA 法	μU/mL	1	900	時間種を指定してください。	-	
413- 420	内分泌負荷試験 (コルチゾール)	血清	0.3	桃 5mL 負荷 (プレーン管)	室温	CLIA 法	μ g/dL	1	1200	時間種を指定してください。	-	
914	エタノール	血漿	0.3	灰 エタノール	室温	酵素法	mg/dL	1	<u>111</u>	採血後速やかに検査部提出	-	

★がついている項目は、パニックバリューが設定されています。(42ページ参照)

時間外測定対象項目です。

負荷試験を依頼する場合、電子カルテの制限上、1つの依頼での採血管本数は9本以内にしてください。

4 免疫学的検査

4.1 免疫グロブリン、補体、血漿蛋白等

コート゛	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
301	C 反応性蛋白 (CRP)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	ラテックス 免疫比濁法	$0.00-0.14 \mathrm{mg/dL}$	1	16	-	4_日間	
381	トランスサイレチン (プレアルブミン)	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	TIA 法	2240mg/dL	1	107	-	6日間	
341	フェリチン	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	ラテックス 免疫比濁法	男:50-200ng/mL 女:12-60 ng/mL	1	<u>108</u>	-	3_日間	
322		血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)			861.0-1747.0mg/dL					
367	免疫グロブリン IgG	随時尿	0.1	尿コップ (TMC カップ)	室温	免疫比濁法	mg/dL	1	38	-	3_日間	
369		髄液	0.1	髄液スピッツ (滅菌スピッツ)			mg/dL					
323	免疫グロブリン IgA	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	免疫比濁法	93.0-393.0mg/dL	1	38	_	3 日間	
370	元及ノロノリン Ign	髄液	0.1	髄液スピッツ (滅菌スピッツ)	主価	元反凡闽仏	mg/dL	1	36		<u>기</u> III	
324	免疫グロブリン IgM	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	免疫比濁法	男:33.0-183.0mg/dL 女:50.0-269.0mg/dL	1	38	_	3 日間	
372	元及ノロノリン Igm	髄液	0.1	髄液スピッツ (滅菌スピッツ)	主価	元反凡闽仏	mg/dL	1	36		<u>기</u> III	
326	補体蛋白 C3	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	免疫比濁法	73.0-138.0mg/dL	1	70	-	2 日間	
327	補体蛋白 C4	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	免疫比濁法	11.0-31.0mg/dL	1	70	-	5日間	
377	リウマチ因子(RF)定量	血清	0.1	桃 5mL (プレーン管)	室温	ラテックス 免疫比濁法	15U/mL 以下	1	30	-	1 日間	
329	IgE(非特異)	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	ラテックス 免疫比濁法	170IU/mL以下	1	100	-	5 日間	

4.2 感染症関連

コート゛	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
72	HBs 抗原(定性)	血清	0.3	感染症 桃 5mL	室温	CLIA 法	(-)	1	29	-	6 日間	
332	HBs 抗原	III. 114	0.0	(プレーン管)		OBIN (A	0.05IU/mL 未満	1	88		<u>0</u> [[R]	
74	HBs 抗体(定性)	血清	0.3	感染症 桃 5mL	室温	CLIA 法	(-)	1	32	_	6 日間	
333	HBs 抗体	11.10	0.0	(プレーン管)	±.1	CLIN IA	10mIU/mL 未満	1	88		Ī	
336	HBc 抗体	血清	0.3	感染症 桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	1.0 未満	1	<u>137</u>	-	6日間	
339	IgM-HA 抗体	血清	0.3	感染症 桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	0.8 未満	1	146	-	6 日間	
75	HCV 抗体	血清	0.3	感染症 桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	(-)	1	<u>108</u>	-	6日間	
77	HIV 抗原・抗体	血清	0.3	感染症 桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	(-)	1	<u>115</u>	-	6日間	
76	HTLV-1 抗体	血清	0.5	感染症 桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	(-)	1	85	-	6 日間	
71	梅毒血清反応 TP 法	血清	0.5	感染症 桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	(-)	1	32	-	6 日間	
70	梅毒血清反応 RPR 法	血清	0.5	感染症 桃 5mL (プレーン管)	室温	凝集反応	(-)	1	15	-	6 日間	定量検査が必要な場合は、別途連 絡が必要です。
378	マイコプラズマ抗体(IgM)	血清	0.3	<u>桃 5mL</u> (プレーン管)	室温	イムノ クロマト法	(-)	1	32	-	3_日間	
384	プロカルシトニン PCT	血清	0.3	<u>桃 5mL</u> (プレーン管)	室温	LBA 法	0.5ng/mL以下	1	301	-	1_時間	
386	エンドトキシン定量	<u>血漿</u>	1	ETX・βGL 用 (ヘパリン ナトリウム)	室温	比濁時間 分析法	5.0pg/mL 未満	1	243	採血直前に開封し、無菌的に採取 してください。	-	平日午後2時までに提出された検 体は、当日報告となります。
387	β-Dグルカン	<u>血漿</u>	1	ETX・βGL 用 (ヘパリン ナトリウム)	室温	比濁時間 分析法	11.0pg/mL 未満	1	207	採血直前に開封し、無菌的に採取 してください。	-	体は、ヨロ報音となります。 検査結果を急がれる場合は、別途 連絡ください。内線:1681
394	プレセプシン	血漿	0.5	緑 4mL (ヘパリン リチウム)	室温	CLEIA 法	500pg/mL以下	1	301	-	-	
691	HBV DNA 定量	血清	1.5	赤 5mL (プレーン管分離剤入 り)	室温	RT-PCR 法	検出せず	1~5	<u>271</u>	開栓厳禁	-	

4.3 腫瘍関連検査、ホルモン関連検査1

コート、	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
340	αフェトプロテイン (AFP)	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	10.0ng/mL以下	1	104	-	6 日間	
342	CEA	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	5.0ng/mL以下	1	100	-	6_日間	
738	CEA	穿刺液	0.3	穿刺液アングロット(滅菌 スピッツ)	主価	CLIA 法	ng/mL	1	<u>102</u>	-	6日間	
343	CA19-9	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	37U/mL 以下	1	127	-	6 日間	
374	PSA	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	4.00ng/mL 以下	1	<u>127</u>	-	6 日間	
375	PSA F/T 比	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	<u>0. 25</u>	1	<u>154</u>	-	6日間	
390	サイトケラチン 19 フラグメント(CYFRA)	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	3.5ng/mL以下	1	<u>162</u>	-	6 日間	
392	CA15-3	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	31.3U/mL以下	1	121	-	6 日間	
393	CA125	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	35.0 U/mL以下	1	<u>144</u>	-	6日間	
380	PIVKA-II	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	40mAU/mL <u>未満</u>	1	139	-	6 日間	
	AFP レクチン分画 (AFPL3%)			- LIV - I			-	1				
391	AFP L3% T-AFP	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	LBA 法	10.0%未満	1	190	-	<u>6</u> 日間	
	(総 AFP)			III. e r			10.0ng/mL以下					
315	eta HCG	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	mIU/mL	1	<u>138</u>	-	6月間	
373	TSH (甲状腺刺激ホルモン)	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	0.35–4.94 μ IU/mL	1	104	-	<u>6</u> 日間	
362	FT3 (遊離トリヨードサイロニン)	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	1.68-3.67pg/mL	1	127	-	6月間	
363	FT4 (遊離サイロキシン)	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	0.7-1.48ng/dL	1	127	-	6_日間	
372	インスリン (IRI)	血漿	0.3	灰 2mL(NaF入り)	室温	CLIA 法	5. 0-10. 0 μ U/mL	1	106	-	6 日間	
411	コルチゾール	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	3.7-19.4μg/dL (早朝空腹時)	1	127	_	6 日間	
412	,,,,,,,	蓄尿	0.3	スピッツ蓄尿		02111 [24	4. 3-176 μ g/day	•			<u>~</u> [] []	
379	ヒト脳性 Na 利尿ペプチド (BNP)	血漿	0.3	黄 5mL (EDTA-2Na 入り)	室温	CLIA 法	18.4pg/mL以下	1	136	溶血の影響を受けます。 採血を行う場合、溶血しないよ うご注意下さい。	4 時間	
385	トロポニンI	血漿	0.3	黄 5mL (EDTA-2Na 入り)	室温	CLIA 法	男:0.0-34.2pg/mL 女:0.0-15.6pg/mL	1	<u>115</u>	-	8.時間	

5血液ガス、薬物検査

コート゛	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	所要 日数	実施料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
595	ガス分析(動静脈) 体温 Fi02 PH(T) PCO2(T) PO2(T) PO2(T) HCO3a ABE tHb Hct O2Hb COHb MetHb HbF s02 ctCO2 Na* K* Ca** CI AnGap Glu Lac Tbil	動脈血	0.5	血ガス用ディスポ (血ガス用シリンジ)	-	- 手入力 電極法 計算 比色法 計算 比色 計算 電極法 計算 電極法 比色法		1	223	採血後、速やかに検査部に提出採血後の体温を、連絡してください	-	ER、救命センター、院内 ICU、NICU、 手術室で検査を行う場合は、オー ダー入力の必要はありません。 検査部で検査を行う場合は、事前 にオーダー入力を行い、検体にラ ベルを添付し提出してください。 体温と FiO₂は、指定がない場合、 体温: 37.0℃ FiO₂: 21.0% として検査を行います。
596	ガス分析(静脈血)	静脈血	0.5	血ガス用ディスポ (血ガス用シリンジ)	-			-		-	-	
597	ガス分析(臍帯血)	臍帯血	0.5	血ガス用ディスポ (血ガス用シリンジ)	-	動脈血と 同様	基準範囲の設定なし 単位は動脈血同様	-	<u>223</u>	-	-	
598	ガス分析(混合血)	混合血	0.5	血ガス用ディスポ (血ガス用シリンジ)	-			-		-	-	
902	フェニトイン	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	μ g/mL	1	470	-	<u>6</u> 日間	
903	バルプロ酸ナトリウム	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	μ g/mL	1	470	-	<u>6</u> 日間	
904	カルバマゼピン	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	μ g/mL	1	470	-	6 日間	
905	ジゴキシン	血清	0.3	桃 5mL (プレーン管)	室温	CLIA 法	ng/mL	1	470	-	2 日間	
908	シクロスポリン	全血	0.9	紫 2mL 薬物用 (EDTA-2K 入り)	室温	CLIA 法	ng/mL	1	470	-	2 日間	
909	タクロリムス	<u>全血</u>	0.9	紫 2mL 薬物用 (EDTA-2K 入り)	室温	CLIA 法	ng/mL	1	470	-	2 日間	
911	バンコマイシン投与前	血清	0.3	桃 5mL 薬物投与前 (プレーン管)	室温	CLIA X±	μg/mL	1	470	次回、投与直前(Trough 濃度)	6 日間	
912	バンコマイシン投与後	血清	0.3	桃 5mL 薬物投与後 (プレーン管)	主価	E温 CLIA 法 μ g/mL	1	410	点滴静注後、1~2 時間(Peek 濃度)	<u>の</u> 口间		
913	メトトレキサート	血漿	0.3	紫 2mL 薬物用 (EDTA-2K 入り)	室温	CLIA 法	$\mu \; { m mol/mL}$	1	470	-	-	検体保存不可 事前連絡が必要 です。(内線:1681)

6. 一般検査

6.1 尿一般、便、寄生虫

J-/,	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
801	尿定性 尿糖 尿糖半定量 ビリルビン ビリルビン半定量 ★ケトン体 ケトン体半定量 潜血半定量 潜血半定量 ウロビリノーゲン ウロビリノーゲンキ定 亜硝酸塩 白血球	随時尿	10	尿コップ (TMC カップ)	室温	- グルコース オキシダーゼ法 アゾ カップリング法 ニトトリウムシド ナトリウルシド ナトリウルシド 大手がは 経触話と 大手が活性法 PH 指示薬法 蛋白 誤差法 アゾ カップリング法 グリース ボーステラー ゼ活性法	- (-) mg/dL (-) mg/dL (-) mg/dL 1.005-1.030 (-) mg/dL 4.5-7.5 (-) mg/dL NORMAL mg/dL (-) (-)	1	26	生理日は検査を避けてください。 やむをえない場合は、検査部へお知らせください。 最初と最後の尿は採らずに、原則中間尿 を採取してください。 を採取してください。 検査前に大量のアスコルビン酸(ビタミンC)を摂取しないでください。 検査前に激しい運動は避けてください。	原時 4 M 提尿 15: 第す。 15: 第す。 H 提尿 30 16: 第す。 E 対 のにま	時間外および2mL未満の少量検体の場合比重検査は試験紙法で測定しています。その為、共存物質の影響などにより正しい値が出ない場合があります。屈折法での再検査を希望される場合は検査部までご連絡ください。ウロビリノーゲン基準範囲NORMALとは(±)を示します。
802	★尿沈渣	随時尿	10	尿コップ (TMC カップ)	室温	鏡検法	-	1	1 27	7 0		
810	Bence Jones 蛋白	随時尿	10	尿コップ (TMC カップ)	室温	Putnum 法	(-)	1	9			
827	尿中ピロリ抗体	随時尿	2	尿コップ (TMC カップ)	室温	イムノクロマト法	(-)	1	70			
828	尿素呼気試験	呼気	-	尿素呼気試験用	室温	13C-尿素呼気 試験法	2.5 パーミル未 満	1	70	朝食は採らずにお越しください。検査前は禁煙し、食後6時間以上開けてください。	-	
822	便潜血反応	便	拇指頭大	採便容器	室温	イムノクロマト法	(-)	1	41		-	
829	便中好酸球	便	拇指頭大	採便容器	室温	鏡検法	(-)	1	1 15 生理日は検査を避けてください。 やむをえない場合は、検査部へお知らせ ください。 便中好酸球とアメーバ検査は排便後直ち に提出してください。 1 23	_		
823	寄生虫卵鑑別	便	拇指頭大	採便容器	室温	鏡検法	(-)	1		_	早朝排尿前に専用のセロファンで採取してください(蟯虫卵)。	
839	アメーバ検査	便・膿	全量	採便容器	保温	鏡検法	(-)	1		_	事前連絡が必要です。 (内線:1675)	
826	寄生虫体鑑別	虫体	全量	滅菌コップ	室温	鏡検法	(-)	1			-	

★がついている項目は、パニックバリューが設定されています。(42 ページ参照) 時間外測定対象項目です。

6.2 穿刺液(胸水・腹水、関節液、その他穿刺液、髄液)

コート゛	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
701	胸水/腹水検査					-	-					
711	色調						-	_	100	採取後速やかに提出してくださ		
702	性状	胸水		胸水アングロット		-	-	1	180	<i>۷</i> ۰.		
712	細胞数	•	1.5	・ 腹水アングロット	室温	-	_	1~3		吸引穿刺時は可能な限り体位変 換後に採取をしてください。	当日	
703 713	細胞分類	腹水		(滅菌スピッツ)		鏡検法	-		40	必ずアングロットを添加してく ださい。		
706 716	Hq					pH 試験紙法	-		-	72.00		
	関節液検査					-	-			採取後速やかに提出してくださ		
721	色調			関節液アングロット		-	無色~淡黄色		100	採取後述やかに提出してくださ い。		
5 00	性状	関節液	1.5	(滅菌スピッツ)	室温	_	透明	1~3	100	・。 必ずアングロットを添加してく	当日	
722 723	細胞数 細胞分類			,			<200/μL 多形核球 25%未満	1	40	- ださい。		
143	その他穿刺液検査					現快伝	多形核球 43%末個		40			
-	材料名						_	1				
731	色調			offer day () day on a 1 No. 1 No. 1		_	_	1	180	採取後速やかに提出してくださ		
	性状	穿刺液	1.5	穿刺液アングロット (滅菌スピッツ)	室温	-	-	1~3		い。・ 必ずアングロットを添加してく	当日	
732	細胞数			(-	ı		-	→ 必りアンクロットを参加してく → ださい。		
733	細胞分類					鏡検法	-		40	/_ C V '0		
736	На					pH 試験紙法	-		_			
	★髄液									採後速やかに提出してください。		
	色調						無色			施行後2時間は絶対安静として		
831	三卯					-	水様透明			ください。 腰椎穿刺時の禁忌		
	性状	髄液	液 1.5	髄液アングロット	室温			1	70	・頭蓋内圧の亢進・穿刺部に感染症がある場合	当日	細胞数が 5/μL以下の場合、細胞分
832	細胞数	1000 110		(滅菌スピッツ)			新生児 20/μL以下 乳児 10/μL以下			・脊椎に変形や奇形があり、針挿入が困難な場合		類は実施しません。
034	种把数					_	乳児 10/ μ L 以下 乳児以降 5/ μ L 以下			抗凝固療法や自血病などで出血		
833	細胞分類					鏡検法	-	1~3	-	傾向が強い場合 ・患者の協力が得られない場合		

7. 血液学的検査

7.1 血液一般・形態検査、凝固一般検査、凝固・線溶系検査

子が赤血球 ho 濃度 (MRC) 大力 トロンピン 時間 (PD) 上の	備考	追加可能 時間	採取・提出条件	実施 料	所要 日数	基準範囲	検査方法	保存	採取ラベル 容器名(採取容器)	検体量 mL	材料	検査項目	コート゛
************************************						-	_						
大・モゲロビン濃度(hb) 本・モゲロビン濃度(hb) 金蔵 0.2 紫血素 2ml (EDTA-2X A 9) 金選 ※正 11.6-14.8 g/dl (中からか血球溶性(m)					_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
# (E) 7 (E) 7 (E) 7 (E) 7 (E) 1 (E) 1 (E) 7 (E) 7 (E) 7 (E) 1 (E) 7 (赤血球数(RBC)	
501			*EDTA 依存性偽			男:13.7-16.8g/dL						★ヘモグロビン濃度(Hb)	
Proposition Red (Mary)		4 時間	性血小板減少症の	21	1	男:40.7-50.1%		室温		0.2	血液	ヘマトクリット値(Ht)	501
平均赤血球 h 豪俊 (ME) 平均赤血球 h 豪俊 (ME) 平均赤血球 h 豪俊 (ME) 平均赤血球 h 豪俊 (ME) 平均 平均 平均 平均 平均 平均 平均 平			絡ください			83, 6-98, 2fL						平均赤血球容積(MCV)	
平均承血球	MCH=(Hb×10)/RBC				-	27 5-33 2ng	241 114						
DC 検出法 DC 検出法 DC 検出法 DC 検出法 108-348 × 107 / µ L DC 検出法 108-348 × 107 / µ L DC 検出法 108-348 × 107 / µ L DC 検出法 DC 使用 D	MCHC= (Hb×100) /Ht					10						1 177 = 1 1	
15 15 15 15 15 15 15 15						$158-348 \times 10^3 / \mu \text{ L}$						★血小板数(PLT)	
特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特		 				_	此 使山伝					血液像(機械・目視分類)(DIFF)	
1				15								好中球(Ne)	
16.5-49.5% 1 日民の 1 日民	目視を実施した場合、好			15					此一个				
接球(Mo) 好機球(Eo) 好機球(Eo) 好機球(Eo) 好機球(Eo) 好機球(Eo) 好機球(Eo) 好機球(Eo) 好性 (EDTA-2K 入り) 室温 FCM 法 PR 1 12 4時間 1- - -	中球の結果は、桿状核好中球、分節核好中球の結	4 時間	-		1		FCM 法	室温		0.2	血液		503
接換	果となります。			場合 25					(EDIN ER/C))				
翻水血球 (レチクロ) 翻水血球 (レチクロ)													
1 12 1 12 1 12 1 15 1 15 1 16 18 18 1 17 18 18 18 18		 											
一				4.0	1		nov M.	4.0	紫 血算 2mL		/ >=		= 0.4
造血前緊細胞数 (IPC) 造血前緊細胞数 (IPC) 造血前緊細胞粒(IPC) 造血前緊細胞比率 (IPC) 生血液 (EDTA-2K 入り) 室温 FCM 法 **10 ³ /μ L		4 時間	_	12	1	%	FCM 法	至温		0.2	皿液		504
造血前駆細胞比率(HPC%) 上版 1 27 本語化 28 20 (EDTA-2K 入り) 全温 中球アルカリホスファターゼ染色 タ中球 ALP スコア (NAP (S)) 血液 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K 入り) 室温 朝長法 75-95% 1 27 事前に連絡が必要 30 分 27 27 30 分 27 27 27 27 27 27 27	() + () + ())	<u> </u>							this I have				
好中球アルカリホスファターゼ染色 好中球 ALP 活性 (NAP (%)) 血液 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K 入り) 室温 朝長法 75-95% 1 27 事前に連絡が必要 です。 30 分 分	血液一般検査(CBC)と一 緒に依頼してください。	-	-	-	1		FCM 法	室温		0.2	血液		507
1	THE PARK OF CALCETS		東治に海紋が立西			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			好中球アルカリホスファターゼ染色	
541 鼻汁好酸球数 鼻汁		30 分		27	1	•	朝長法	室温		0.2	血液		553
541 鼻汁好酸球数 鼻汁 ド1枚 スライドグラス 室温 鏡検法 (一) 1 15 ケースに入れ、提出してください。 101 血液 洗降速度 血液 1.8 血沈用(長黒) (3.2%クエン酸 Na入り) 室温 Westergren 変法 英: 2-10mm	鼻汁をスライドグラス	 	- / 0			170-330			(== ::: =::, : , ,			好中球 ALP スコア (NAP (S))	
101 血液沈降速度 血液	に塗抹し直ちに冷風乾	-	ケースに入れ、提	15	1	(-)	鏡検法	室温	スライドグラス		鼻汁	鼻汁好酸球数	541
101 加成化性を反 加成 1.8 (3.2% クエン酸 Na 入り) 至価 変法 女: 3-15mm 1 9 量採血して下さい 1 15 15 15 15 15 15 15	燥してください	<u> </u>							/ \	L I X			
511 出血時間 耳染血 - - Duke 法 300 秒以内 1 15 - - 521 ★プロトロンビン時間(PTs)	検体保存不可	-	採血は、必す規定	9	1			室温	血沈用(長黒) (3.2%クエン酸 Na 入り)	1.8	血液	血液沈降速度	101
★プロトロンビン時間(PTs) 血漿 0.2 黒 凝固 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 室温 経過時間法	<u> </u>			15	1	300 秒以内		_	- AK 110 / C//	_	耳杂血		511
★プロトロンビン時間国際標準比(PT-INR) 血漿		, et ur	採血は、必ず規定	- 10			/kg (21 HT BB / I	4.0	黒 凝固 1.8ml		/ Lide		=0.1
522 ★活性化部分トロンボプラスチン(APTT) 血漿 0.2 黒 凝固 1.8mL (3.2%クエン酸 Na 入り) 室温 凝固時間法 25-40 秒 1 29 採血は、必ず規定 量採血して下さい 生時間 523 ★フィブリノーゲン(Fib) 血漿 0.2 黒 凝固 1.8mL (3.2%クエン酸 Na 入り) 室温 トロンビン 時間法 200-400mg/dL 1 23 採血は、必ず規定 量採血して下さい 4時間 521 ★アンチトロンビンW(ATW) 血漿 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 合成其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24時間 521 ★アンチトロンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 合成其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24時間 521 ★アンチトロンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 合成其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24時間 521 ★アンチトロンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 合成其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24時間 521 ★アンチトロンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 合成其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24 時間 521 ★アンチトロンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 合成其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24 時間 521 ★アンチトロンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 合成其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24 時間 521 ★アンチトロンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 合成其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24 時間 521 ★アンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 6成 其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24 時間 521 ★アンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 6成 其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24 時間 521 ★アンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 6成 其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 24 時間 521 ★アンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 6成 其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 21 時間 521 ★アンビンW(ATW) 加粉 0.2 黒 凝固 1.8mL 容温 6成 其原法 20-120% 1 70 採血は、必ず規定 21 株 21		4 時間	量採血して下さい	18	1		凝固時間法	至温	(3.2%クエン酸 Na 入り)	0.2	血漿		521
523 ★フィブリノーゲン(Fib) 血漿 0.2 黒 凝固 1.8mL (3.2%クエン酸 Na 入り) 室温 トロンビン 時間法 200-400mg/dL 1 23 採血は、必ず規定 量採血して下さい 4 時間 またいでも、ロンビンは、1 20 採血は、必ず規定 24 時間 200-400mg/dL 1 200-4000mg/dL 1 200-400mg/dL 1 200-4000mg/d		4 時間		29	1		凝固時間法	室温		0.2	血漿	71.7	522
521 トアングンⅢ(ATⅢ) 血蜂 0.2 黒 凝固 1.8mL 宮油 △戌甘蔗法 90_1200 1 70 採血は、必ず規定 24 時間		4 時間	採血は、必ず規定	23	1	200-400mg/dL		室温	黒 凝固 1.8mL	0.2	血漿	★フィブリノーゲン(Fib)	523
		24 時間		70	1	80-120%	合成基質法	室温		0.2	血漿	★アンチトロンビンⅢ (ATⅢ)	531
535		8 時間	採血は、必ず規定	<u>133</u>	1	0.0-1.0 μ g/mL	<u>ラテックス</u> 免疫比濁法	室温	黒 凝固 1.8mL	0.2	血漿	★D-ダイマー	535
537		8 時間	採血は、必ず規定	80	1	0.0-5.0 μ g/mL	ラテックス	室温	黒 凝固 1.8mL	0.2	血漿	★FDP	537
- 血小板機能検査(ベリファイナウ) 血漿 - (3. 2%クエン酸 NA 入り) 室温 上圏法(光透過 法) - 1 未保険 事前に連絡が必要 です。 不可		不可	事前に連絡が必要	未保険	1	-	比濁法(光透過	室温	黒 凝固 1.8mL	-	血漿	血小板機能検査(ベリファイナウ)	-

★がついている項目は、パニックバリューが設定されています。(42 ページ参照)

7.2 骨髄検査

コート゛	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
	骨髄検査	骨髄					_		-	骨髄採取時は、		必要に応じて以下の染色を追加します。
-	細胞数、分類、所見	穿刺液	1	骨髄検査	室温	鏡検法	-	7	812	育鼬休取時は、 検査技師が介助します。	_	染色の種類(PO、PAS、EST、Fe、脂肪染色)
	特殊染色	牙利权					_		40*	快重収刷が打めします。		*:ひとつの染色につき、40 点加点されます。

7.3 フローサイトメトリー検査

J-/,	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
554	T·B·NK 百分率	末梢血	1	FCM 専用	室温	FCM 法 <u>(蛍光抗体法</u> 直接法)	T 細胞:58-84% B 細胞:5-24%	1	<u>198</u>	-	4 時間	検査に使用するモノクローナル抗体 CD3 CD19 CD56 CD45
555	T細胞サブセット	末梢血	1	FCM 専用	室温	FCM 法	CD4:25-56% CD8:17-44%	1	100	-	4 0+100	検査に使用するモノクローナル抗体
555	(CD4/CD8)	BALF	10-50	FCM 専用	至温	(直接免疫 抗体法)	-	1	<u>190</u>	検体中の細胞数に応じて、 必要な検体量が変わります。	4 時間	CD3 CD4 CD8 CD45
566	PBSC	PBSC	0.5	FCM 専用	室温	<u>シングルプラ</u> ットホーム法	-	1	-	-	Ξ	検査に使用するモノクローナル抗体 CD34 CD45 7-AAD
		末梢血 骨髄穿刺液	1				-			採取した検体は、直ちに提出		検査に使用するモノクローナル抗体
565	表面免疫グロブリン	体腔液	10-50	FCM 専用	室温	FCM 法 (蛍光抗体法	-	2	157	してください。	4 時間	κλ
		リンパ節	5X5X5 mm			直接法)	-			詳細な検体量は、別途問い合 わせください。		リンパ節等の組織検体は、生のまま提出 してください。
		その他 末梢血	- 1				<u> </u>					
505	細胞質内	骨髄穿刺液	1	DOM THE	<i>-</i> 2-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12	FCM 法	-		155	採取した検体は、直ちに提出 してください。	4 H+ HH	検査に使用するモノクローナル抗体 κ λ
567	免疫グロブリン	体腔液 リンパ節	10-50 5X5X5mm	FCM 専用	室温	(蛍光抗体法 直接法)	-	2	<u>157</u>	詳細な検体量は、別途問い合わせください。	4 時間	リンパ節等の組織検体は、生のまま提出 してください。
		その他 末梢血	2				-			476 (766)		検査に使用するモノクローナル抗体
	74. 4. 明显 U. 呼应如 15	骨髄穿刺液	1			FCM 法	-			採取した検体は、直ちに提出		細胞表面:CD1a CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8
576	造血器悪性腫瘍細胞 (ML、B-ML)	体腔液 リンパ節	10-50 5X5X5	FCM 専用	室温	(蛍光抗体法 直接法)	-	2	<u>1940</u>	してください。 詳細な検体量は、別途問い合	4 時間	CD10 CD16 CD19 CD20 CD22 CD23 CD25 CD30 CD33 CD34 CD45 CD56 κ λ 7-AAD
		その他	mm —			<u>EIXIA/</u>	_			わせください。		リンパ節等の組織検体は、生のまま提出 してください。
		末梢血骨髄穿刺液	2				-			松木 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		検査に使用するモノクローナル抗体
577	造血器悪性腫瘍細胞	体腔液	10-50	FCM 専用	室温	FCM 法 (蛍光抗体法		2	1940	採取した検体は、直ちに提出 してください。	4 時間	細胞表面: CD1a CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD16 CD19 CD20 CD22 CD23 CD25 CD30
011	(ML、T-ML)	リンパ節	5X5X5 mm	1 Om -47/11		直接法)	-	2	1340	詳細な検体量は、別途問い合 わせください。	표 # () [타]	CD33 CD34 CD45 CD56 7-AAD リンパ節等の組織検体は、生のまま提出
		その他 末梢血	- 2				-					してください。 検査に使用するモノクローナル抗体
		骨髄穿刺液	1				-			採取した検体は、直ちに提出		細胞表面: CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10
578	造血器悪性腫瘍細胞	体腔液	10-50 5X5X5	FCM 専用	室温	FCM 法 (蛍光抗体法	_	2	1940	してください。	4 時間	CD13 CD14 CD19 CD20 CD33 CD34 CD41 CD45 CD56 CD117 GPA HLA-DR
	(AML, ALL)	リンパ節	mm			直接法)	_			詳細な傾体重は、別述問い合 わせください。		細胞質内: CD3 CD45 CD79a MP0 リンパ節等の組織検体は、生のまま提出
		その他	-				-					してください。
		末梢血 骨髄穿刺液	2			FCM 法				採取した検体は、直ちに提出		検査に使用するモノクローナル抗体 細胞表面:CD19 CD20 CD38 CD56 CD138
580	造血器悪性腫瘍細胞 (MM)	体腔液	10-50 5X5X5	FCM 専用	室温	(蛍光抗体法	_	2	1940	してください。 詳細な検体量は、別途問い合	4 時間	細胞質内: κ λ
	()	リンパ節	mm			直接法)	-			わせください。		リンパ節等の組織検体は、生のまま提出 してください。
		その他	_				_					

8. 輸血関連検査

コート゛	検査項目	材料	検体量 mL	採取ラベル 容器名(採取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
121 122	血液型 ABO、RhD	全血	3.0	紫 6mL 血液型	室温	-	-	1	<u>48</u>	交差用とは同時に採血しないで ください。	_	検査結果によっては、追加の採血が 必要になることがあります。
123	不規則抗体検査	全血	3.0	紫 6mL 血液型	室温	-	-	1	159	-	_	保管期間: 残余検体の血球1週間、血漿1年
400	直接クームス	全血	3.0	紫 6mL 血液型	室温	-	(-)	1	34	ヘパリン加血・凝固血への追加不 可	-	採血後、直ちに提出してください。 検査結果(-)以外はスキャナーにて 詳細結果を報告します。 保管期間: 残余検体の血球1週間、血漿1年
401	間接クームス	全血	3.0	紫 6mL 血液型	室温	-	(-)	1	47	-	-	保管期間: 残余検体の血球1週間、血漿1年
126	血液型抗体価検査	全血	3.0	紫 6mL 血液型	室温	-	倍	1	-	-	-	事前に連絡が必要です。(内線:1679) 保管期間: 残余検体の血球1週間、血漿1年
125	クロスマッチ(交差用)	全血	3.0	紫 6mL 交差用	室温	-	-	1	-	血型用とは同時に採血しないで ください。	-	検体の有効期間は、採血日から3日間 となります。 保管期間: 残余検体の血球2週間、血漿2年
115	輸血前保存用	全血	3.0	輸血前保存用専用	室温	-	-	-	-	採取容器は、遵守してください。 輸血前に採血して下さい。	-	頻回輸血の患者の場合は、 1週間~1ヶ月に1回を目安に採血 してください。 保存期間:2年

T&S の場合は、クロスマッチ用及び輸血前保存用採血を手術前の平日 15 時 30 分までに輸血部に提出ください。

9. 微生物関連検査

9.1 一般細菌検査

検査	項目	材料	検体量 mL	容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
塗抹	鏡検	生検体	-	-	室温 (採取後すぐ提出)	グラム染色	ı	1-2	<u>50</u>	-	3 目	
		喀痰、吸引痰など	-	喀痰容器	室温 (採取後すぐ提出)	Bergey's Manual他に	Ι	3-7	160		3 目	
		鼻汁、鼻腔、咽頭など	-	カルチャースワブ	室温 (採取後すぐ提出)	基づく同定法	-	3-7	160		3 目	
		糞便、胆汁など	-	滅菌コップ 滅菌スピッツ 嫌気ポータ <u>ー</u>	室温 (採取後すぐ提出)	Bergey's Manual 他に 基づく同定法	-	3-7	180	・原則抗菌薬投与前に採取をお願 い	3 日	
		尿、カテーテル尿、 腎盂尿など	-	滅菌コップ 滅菌スピッツ	室温 (採取後すぐ提出)	Bergey's	-	3-7	170	します ・検体採取の後はすみやかに	3 目	
好怎	性菌	その他 生殖器からの検体	-	滅菌コップ 滅菌スピッツ カルチャースワブ	室温 (採取後すぐ提出)	Manual 他に 基づく同定法	-	3-7	170	検査部へ提出をお願いします。 ・目的菌がある場合は、オーダーをする際に入力をお願いしま	3 日	
	• 同定	血液	1 ボトル あたり 10mL (小児: 1-3mL)	血液培養ボトル	室温 (採取後すぐ提出)	Bergey's	-	3-7	<u>215</u>	す。 ・目的菌が、淋菌、髄膜炎菌、赤痢 アメーバ等の場合は、検査部に	-	
		髄液	-	滅菌スピッツ	室温 (採取後すぐ提出)	Manual 他に 基づく同定法	1	3-7	<u>215</u>	ご連絡ください。 ・検査部提出後は冷蔵で三日間保	3 目	
		その他穿刺液 (胸水、腹水、関節液)	-	滅菌コップ 滅菌スピッツ 嫌気ポーター	室温 (採取後すぐ提出)		-	3-7	<u>215</u>	<u>存</u>	3 日	
		その他の材料 (膿、眼脂、耳分泌物、 皮膚など)	-	滅菌コップ 滅菌スピッツ カルチャースワブ 嫌気ポーター	室温 (採取後すぐ提出)	Bergey's Manual他に 基づく同定法	-	3-7	160		3 日	
	性菌 • 同定	好気性菌培養に準ずる	-	-	室温 (採取後すぐ提出)	Bergey's Manual他に 基づく同定法	l	5-8	<u>112</u>	嫌気ポーター、カルチャースワブ 又は嫌気用ボトルで提出してく ださい。 (便検体では <i>C. difficile</i> のみ)	3 日	
	1 菌種	菌株	-	-	-	微量液体 希釈法	-	4-7	170		2 週間	便や口腔気道系検体の常在菌及び糸状菌の薬剤感受性試験
薬剤 感受性	2 菌種	菌株	-	-	-	微量液体 希釈法	-	4-7	220	_	2 週間	は実施していません。 ・検出された菌により検査する
試験	3 菌種以上	菌株	-	-	-	微量液体 希釈法	-	4-7	280		2 週間	抗菌薬は変わります。 (58ページ菌種別薬剤感受性 一覧参照)

9.2 抗酸菌検査

検査項目	材料	検体量 mL	容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
塗抹鏡検	生検体	1	一般細菌に準ずる	室温 (採取後すぐ提出)	蛍光染色	-	1-2	82	・尿の場合は、最低 50m1 採尿をお願いします。・血液材料の場合はヘパリン採血管で提出してください。※カルチャーボトルでの提出は不可	3 日	
結核菌群核酸同 定	生検体 菌株	-	一般細菌に準ずる	室温 (採取後すぐ提出)	LAMP 法	(-)	1-3	410	-	3 目	

9.3 真菌検査

検査項目	材料	検体量 mL	容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
塗抹鏡検	生検体	_	一般細菌に準ずる	室温 (採取後すぐ提出)	蛍光法	_	1-2	<u>50</u>	-	3 日	
塗抹鏡検	表皮各層、爪、落屑	_	滅菌コップ 滅菌スピッツ	室温 (採取後すぐ提出)	KOH 法	-	1-2	<u>50</u>	-	-	
分離培養・同定	生検体	-	一般細菌に準ずる	室温 (採取後すぐ提出)	クロモアガー カンジダ、ポ テト寒天培地	-	4-20	☆	-	3 日	
酵母様真菌 薬剤感受性試験	菌株	-	-	1	○微量液体 希釈法	I	4-7	150	-	2 週間	深在性真菌症であり、原因菌が 分離できた患者に対して行っ た場合に限り算定する。

☆検体の採取部位により保険点数は異なります。

口腔、気道又は呼吸器からの検体 160点

消化管からの検体 180 点

血液又は穿刺液 215 点

泌尿器又は生殖器からの検体 170点

その他の部位からの検体 160点

○酵母様真菌の薬剤感受性試験の薬剤

アムホテリシン B(AMPH-B)、フルシトシン(5-FC)、フルコナゾール(FLCZ)、イトラコナゾール(ITCZ)、ミコナゾール(MCZ)、ミカファンギン(MCFG)、ボリコナゾール(VRCZ)、カスポファンギン(CPFG)

9.4 遺伝子検査

検査項目	<u>材料</u>	<u>検体量</u> <u>mL</u>	容器	保存	<u>検査方法</u>	基準範囲	<u>所要</u> 日数	<u>実施</u> 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
新型コロナウイルス	鼻咽頭ぬぐい液	=	鼻腔用スワブ	<u>室温</u> (採取後すぐ提出)	<u>LAMP 法</u> <u>PCR 法</u>	<u>(-)</u>	<u>1</u>	<u>1350</u>	<u>スワブの拭き上げを</u> <u>お願いします。</u>	=	

9.5 迅速、スクリーニング検査

検査項目	材料	検体量 LL	容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
MRSA スクリーニング	鼻腔、咽頭、 喀痰、臍	-	カルチャースワブ	室温 (採取後すぐ提出)	MRSA スクリーニング培地 を使用	検出せず	2-3	1	-	3 日	
CD 培養	糞便	-	滅菌コップ	室温 (採取後すぐ提出)	CCMA 培地を使用	検出せず	2-5	1	スワブでの検査はできませ ん	3 日	
A 群 β 溶連菌 迅速試験定性	咽頭ぬぐい液	-	咽頭用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	<u>127</u>	-	_	
インフルエンザ ウイルス抗原定性	<u>鼻</u> 咽頭ぬぐい液	-	鼻腔用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	<u>139</u>	-	_	
アデノウイルス 抗原定性(咽頭・結膜)	咽頭ぬぐい液 角結膜ぬぐい液	-	咽頭用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	<u>189</u>	-	_	
RS ウイルス 抗原定性	鼻咽頭ぬぐい液	-	鼻腔用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	*1 138	-	_	
ヒトメタニューモ ウイルス抗原定性	鼻咽頭ぬぐい液	-	鼻腔用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	*2 146	-	-	
マイコプラズマ 抗原定性	咽頭ぬぐい液	-	咽頭用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	150	-	_	
肺炎球菌抗原定性 (尿・髄液)	尿 髄液	1mL	滅菌コップ 滅菌スピッツ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	<u>198</u>	-	2 日	
レジオネラ抗原定性 (尿)	尿	1mL	滅菌コップ 滅菌スピッツ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	<u>217</u>	-	2 日	
ロタウイルス 抗原定性(糞便)	糞便	-	滅菌コップ 直腸便用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	*3 65	糞便がとれない場合、 直腸便用スワブでも可	1 日	
アデノウイルス 抗原定性(糞便)	糞便	-	滅菌コップ 直腸便用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	*3 60	糞便がとれない場合、 直腸便用スワブでも可	1 日	
クロストリジウム・ ディフィシル(CD)抗 原・毒素定性	糞便	-	滅菌コップ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	80	スワブでの検査はできませ ん	3 日	
ノロウイルス 抗原定性	糞便	_	滅菌コップ 直腸便用スワブ	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	*4 150	糞便がとれない場合、 直腸便用スワブでも可	1 日	
脳脊髄膜炎起炎菌 莢膜多糖抗原	髄液	1mL以上	滅菌スピッツ	室温 (採取後すぐ提出)	ラテックス凝集法	(-)	1	144	-	数時間	時間外は担当者呼び 出し対応です。
デングウイルス 抗原定性	全血	0.2mL	紫 血算 2mL (EDTA-2K 入り)	室温 (採取後すぐ提出)	免疫クロマト法	(-)	1	233	-	1月	検査の際は検査部へ ご連絡ください。

- *1 入院中の患者・1 歳未満の乳児・パリビズマブ製剤の適用となる患者のいずれかに該当する場合に適用
- *2 当該ウイルス感染症が疑われる 6 歳未満の画像診断により肺炎が強く疑われる場合に適用
- *3 同時測定の場合、主たる検査の所定点数のみ算定が可能です
- *4 以下のいずれかに該当する患者について、当該ウイルス感染症が疑われる場合に適用
 - ア:3 歳未満の患者 イ:65 歳以上の患者 ウ:悪性腫瘍の診断が確定している患者 エ:臓器移植後の患者
 - オ: 抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者
 - 時間外測定対象項目です。

10. 病理関連検査

10.1 細胞診検査

検査項目	材料	検体量 mL	容器	保存	検査方法	基準 範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
細胞診(婦人科)	子宮頸部(EC)、子宮 体部(EM)、膣断端、 外陰部、その他	塗抹標本 (湿固定)	スライドガラス	室温	パパニコロウ染色	_	2-7	150	塗抹後直ちに 95%アルコー ルで固定してください。	-	鉛筆でスライドガラスへの名前の記入をお願いします。 *子宮体部の場合は"EM"と記載をお願いします。
細胞診(喀痰)	喀痰	-	喀痰容器又はシャーレ	冷蔵	パパニコロウ染色	-	2-7	190	-	当日	
	擦過物	塗抹標本 (湿固定)	スライドガラス	室温	パパニコロウ染色	-			塗抹後直ちに 95%アルコー ルで固定してください。	-	鉛筆でスライドガラスへの名前の記 入をお願いします。
一般細胞診	穿刺液(胸水、腹水、 髄液、胆汁など)、 尿、洗浄液、その他	<u>1</u> mL 以上	<u>スピッツ</u> 滅菌コップ 尿コップ	冷蔵	パパニコロウ染色 PAS 染色 ギムザ染色	-	3-7	190	-	当日	胸水、腹水は必ずアングロットを添加 してください。
	気管支洗浄・擦過	擦過:塗抹標本	スライドガラス スピッツ	室温	パパニコロウ染色	-			塗抹後直ちに 95%アルコー ルで固定してください。	当日	鉛筆でスライドガラスへの名前の記 入をお願いします。
捺印細胞診 (リンパ節等)	組織(未固定)	-	生食で浸したガーゼに 包む又はシャーレに そのまま入れる	Ξ	パパニコロウ染色 PAS 染色 ギムザ染色	-	3-10	190	-	-	事前連絡が必要です。(内線:1682)
術中迅速細胞診	洗浄腹水、洗浄胸水	11 101 [.	スピッツ	室温	迅速パパニコロウ 染色 クイック染色	-	30 分程度 (電話連絡)	450	-	-	必ずアングロットを添加してください。 事前連絡が必要です。(内線:1682)
州 中廷逐种危診	(元)中版小、元(于)的小 	<u>1</u> mL 以上	滅菌コップ	室温	パパニコロウ染色 PAS 染色 ギムザ染色	-	3-7	-	-	-	迅速報告後、通常の染色も行い確認します。 事前連絡が必要です。(内線:1682)
気管支肺胞洗浄液 細胞診	気管支肺胞洗浄液 (BAL)	<u>1</u> mL 以上	スピッツ 滅菌コップ	室温	パパニコロウ染色 ギムザ染色 CD4/CD8 (フローサイト)	-	3-7	190	採取した検体は、直ちに提 出してください。	-	

10.2 病理組織検査

検査項目	材料	検体量 mL	容器	保存	検査方法	基準 範囲	所要 日数	実施 料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
病理組織	生検組織 手術材料	-	ホルマリンの入った 蓋付き容器又は タッパー	室温	HE 染色、特殊染色 免疫組織化学染色	-	3-7	860	組織をホルマリンに浸し て提出してください。	-	
術中迅速組織診	手術材料	-	生食で浸したガーゼに 包む又はシャーレに そのまま入れる	Ξ	迅速 HE 染色 迅速 EVG 染色	-	20 分程度	1990	組織をそのまま提出して ください。 (ホルマリン不可)	-	事前連絡が必要です。(内線:1682) 必ず永久標本を作製する為、通常 病理組織のオーダーも行ってください。
セルブロック	穿刺液 (胸水、腹水など)	-	<u>スピッツ</u> 滅菌コップ	冷蔵	IE 染色、特殊染色 免疫組織化学染色	-	3-7	860	-	-	必ずアングロットを添加してください。
蛍光抗体検査	腎臓、皮膚、その他	-	シャーレ又は専用容器	室温	蛍光抗体法	-	2-3	1200	組織をそのまま提出して ください。 (ホルマリン不可)	-	凍結必要な為、至急提出をお願い します。(乾燥厳禁)
標本診断	染色済標本	-	-	室温	-	-	2-4	500	スライドガラスが割れな いような容器に入れて提 出してください。	-	診断のみ行います。
病理解剖	生検組織	-	-	-	-	-	-	_	-	-	・解剖開始時間は病理医と相談してください。 ・解剖に要する時間は3-4時間です。 ・病理オーダーラベルと解剖に関する 遺族の承諾書を提出してください。 ・時間外は守衛室を通して連絡してくだ さい。

10.3 病理関連遺伝子検査

検査項目	材料	検体量 mL	容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	実施料	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
	パラフィン切片	10μm ×4-20 枚	ı	室温	Q-Probe 法	-	2-5		-	-	依頼時に連絡が必要です。(内 線:1682)
EGFR 遺伝子 変異解析	胸水	30mL	滅菌スピッツ 滅菌コップ	冷蔵	Q-Probe 法	1	2-5	2100	-	1週間	必ずアングロットを添加してください。依頼時に連絡が必要です。(内線:1682)
	BALF	30mL	滅菌スピッツ 滅菌コップ	冷蔵	Q-Probe 法	_	2-5		-	1週間	必ずアングロットを添加してください。依頼時に連絡が必要です。(内線:1682)
乳癌 HER2 遺伝子	パラフィン切片	5μm× <u>1</u> 枚	-	室温	FISH 法	-	7-11	2700	-	-	
胃癌 HER2 遺伝子	パラフィン切片	5μm×2枚	-	室温	FISH 法	-	7-10	2700	-	-	
UGT1A1	血液	0.5mL	赤 2mL (EDTA-2K 入り)	室温	Q-Probe 法	_	1-4	2037	他の採血管からの流用は できません。専用の採血管 で採取してください。	_	
JAK2V617F/CALR 変異解析	血液	0.5mL	赤 2mL (EDTA-2K 入り)	室温	Q-Probe 法	-	1-3	2504	他の採血管からの流用は できません。専用の採血管 で採取してください。	-	
PNPLA3	血液	0.5mL	赤 2mL (EDTA-2K 入り)	室温	Q-Probe 法	-	1-3	未保険	他の採血管からの流用は できません。専用の採血管 で採取してください。	_	

11. 生理検査

11.1 肺機能検査

検査項目	検査前の注意事項	検査方法	検査 所要時間	実施料	検査条件	備考
呼吸機能検査 VC+FVC	掛け声に合わせて口で大きく吸ったり吐いたり、勢い良く吐いたり吸ったり する検査です。呼吸が楽にできる服装でお願いします。酸素吸入	ローリングシール式 スパイロメータ測定法	15 分	190	-	
機能的残気量 FRC	および気管切開などを行っている場合、理解力不足や要領が悪いなどで検査 が出来ない場合は、主治医へ連絡させていただきます。	ヘリウム閉鎖回路法	30 分	140	FRC、DLCO、CV は 完全予約制になります。	
肺拡散能力 DLCO	(絶対的禁忌) 急性心筋梗塞、腹部大動脈瘤、肺塞栓、狭心症、重症大動脈弁狭窄症	1 回呼吸法	30 分	180	売生子的前になります。 予約が入らない場合は 生理検査室へご相談く	
クロージングボリューム CV	(相対的禁忌) 気胸、喀血、肺結核、鼻腔・咽頭から MRSA を排菌している場合	単一呼吸法	30 分	135	ださい。	
呼気一酸化窒素 ガス分析	一定の強さで一定時間、息を呼出する検査です。検査前の注意事項は 呼吸機能検査に準ずる。	ガス分析法	10分	100	-	

11.2 心電図検査

検査項目	検査前の注意事項	検査方法	検査 所要時間	実施料	検査条件	備考
標準 12 誘導心電図	電極を皮膚に取り付けますので、着脱しやすい服装をご指導ください。	安静時標準 12 誘導心電図	10分	130	-	
負荷心電図	階段昇降の運動をする検査です。男性は上半身裸もしくは検査着、女性は 上半身の下着を取り、検査着に着替えて検査を行います。	負荷心電図	20 分	380	-	循環器内科、心臓血管外 科、小児科、健診・人間
運動能力 (トレッドミル・エルゴメーター)	坂道歩行や自転車をこぐなどの運動をする検査です。男性は上半身裸もしく	安利力井) 景园	00.4	1400	医師立会いの下での	ドック室の医師のみ依頼 可能です。
運動能力(CPX)	は検査着、女性は上半身の下着を取り、検査着に着替えて検査を行います。	運動負荷心電図	20 分	1920	検査になります。	依頼の際はコンサルトお 願いします。
24 時間心電図	胸部に機器を装着して24時間記録を行います。検査中は入浴できないことを ご説明ください。また電気毛布など体に直接肌に触れる電化製品の使用もで きません。	長時間心電図	24 時間	1750	使用後の機器返却を お願いします。	解析・判読に日数を要し ます。
加算平均心電図検査	胸部に電極をつけて一定の時間安静下での検査です。着脱しやすい服装をご 指導ください。通常の標準 12 誘導心電図より時間がかかる場合があります。	遅延電位測定法	20 分	200	-	
携带型心電図検査	一定期間機器の貸し出しを行いその間記録を行う検査です。患者ご本人に よる機器操作が必要な検査です。	発作時心臟活動記録法	適宜	500	使用後の機器返却を お願いします。	
自律神経検査	電極を皮膚に取り付けますので、着脱しやすい服装をご指導ください。 脈と脈の間隔のばらつきを検査しますので、不整脈の際は検査できない場合 があります。	CVRR 法	10分	ı	-	
長時間心電計	患者自身で着脱が可能な装置です。入浴の際には外していただき、入浴後に ご自身で再装着をお願いします。	長時間心電図 (1 週間)	7-10 日	1750	台数に限りがあります。 ご不明な点は生理検査 室へご相談ください。	

11.3神経伝導検査

検査項目	検査前の注意事項	検査方法	検査 所要時間	実施料	検査条件	備考
神経伝導速度	神経を電位で刺激し波形の分析を行う検査です。刺激に伴い痛みが生じる	頻回刺激法	60 分	200	検査は完全予約制です。	1神経につき 200 点
誘発電位検査	場合があります。	誘発電位測定法	60 分	670	事前に生理検査室へ	
術中モニタリング	手術中脳機能及び脳神経機能を監視して術後合併症を極力少なくする目的で 行います。術中モニタリングの機器セッティングおよび記録を行います。	術中神経モニタリング法	-	3130	ご相談ください。	

○患者の状態によっては検査困難な場合がありますのでご了承ください。検査の際、感染予防策が必要な場合は必ず事前に連絡をお願いします。

11.4 超音波検査

検査項目	検査前の注意事項	検査方法	検査 所要時間	実施料	検査条件	備考
心臟超音波検査	上半身は胸が見える状態での検査です。出来る限り着脱しやすい服装をご指導ください。緊急の場合、時間指定のある場合には検査部までご連絡をお願いします。	B モード法・M モード法・ ドプラ法	20 分	880		
腹部超音波検査	8 時間以上の絶食が必要な検査です。ただし食後でも検査が必要な場合には主治医の判断により検査を行います。膀胱や前立腺・子宮などの評価の場合は十分な蓄尿をお願いします。	Bモード法・ドプラ法	20 分	530		
乳腺超音波検査	上半身は胸が見える状態での検査です。出来る限り着脱しやすい服装をご指導ください。創部により感染などの可能性がある場合には主治医に相談させていただきます。絶食の必要はありません。	Bモード法・ドプラ法	20 分	350	検査は予約制です。	
甲状腺・副甲状腺 超音波検査	首のまわりを広く開けて行う検査です。ハイネック・タートルなどの服装は 脱いでいただく場合があります。創部により感染などの可能性がある場合に は主治医に相談させていただきます。絶食の必要はありません。	Bモード法・ドプラ法	<u>15</u> 分	350	オーダーの際、オープン 枠が入らない場合や ベッド・ストレッチャー 搬送・ポータブル検査の	
体表超音波検査	観察部位によっては着衣を脱いでいただく場合があります。着脱しやすい服 装をご指導ください。検査部位の記載をお願いします。	B モード法・ドプラ法	<u>15 分</u>	<u>350</u>	撮送・ホータブル検査の 場合は生理検査室へご 相談ください。	
頸部血管超音波検査	首のまわりを広く開けて行う検査です。ハイネック・タートルなどの服装は 脱いでいただく場合があります。創部により感染などの可能性がある場合に は主治医に相談させていただきます。絶食の必要はありません。	Bモード法・ドプラ法	20 分	350	1日以入/こさV。	
上肢動静脈超音波検査	観察部位によっては着衣を脱いでいただく場合があります。着脱しやすい服 装をご指導ください。下肢動静脈観察の場合はズボンを脱いで検査着を着用	B モード法・ドプラ法	20 分	350		パルスドプラ法を行った 場合、加算 200 点
下肢動静脈超音波検査	していただきます。		20),	450		30 □ (30±3+ 200 MK
腹部血管超音波検査	観察部位によっては絶食が必要となる場合があります。また検査中観察しや すいような体位をとっていただく場合があります。	Bモード法・ドプラ法	20 分	350		
肝硬度測定	仰臥位で腹部を出して行う検査です。出来る限り観察しやすい服装をご指導 ください。刺激に伴い機器から振動波が出ますので腹部に衝撃が伝わります。	せん断波測定法	<u>10</u> 分	200	_	

11.5 聴力検査

検査項目	検査前の注意事項	検査方法	検査 所要時間	実施料	検査条件	備考
聴性脳幹反応 (ABR)	装着したヘッドホンから大きな音を出しながらの検査となります。前日は洗 髪し、整髪料などの使用はお控えください。	聴性脳幹反応法	90 分	804	-	
新生児聴力検査 (AABR)	検査時は体部と頭部、両側耳に機器を装着しますので皮膚に炎症がある場合 は検査できないこともあります。睡眠下での検査となります。	自動聴性脳幹反応法	20 分	804	-	
聴力(気導・骨導)検査	眼鏡、イヤリング、補聴器など、検査に支障をきたすようなものを着用して	オージオメーター法	20 分	350	-	
聴力(気導)検査	歌頭、イドリング、柵心砕など、横直に叉棒をさたりようなものを有用して いる場合は、外して検査を行います。	オージオメーター法	15 分	110	-	
聴力(簡易)検査	V の物口は、アトレく快旦で11V より。	オージオメーター法	10分	40	-	
ティンパノメトリー検査	鼓膜穿孔がある場合は検査不可となります。眼鏡、イヤリング、補聴器など、 検査に支障をきたすようなものを着用している場合は外し、耳栓をして検査 となります。	インピーダンス オージオメーター法	10 分	340	-	
耳小骨検査	眼鏡、イヤリング、補聴器など、検査に支障をきたすようなものを着用して いる場合は外し、耳栓をして検査となります。	インピーダンス オージオメーター法	10 分	450	-	
中耳機能検査	医師が処置を行った後に聴力検査を行います。	鼓膜穿孔閉鎖検査 (パッチテスト)	10分	150	-	
OAE 検査	眼鏡、イヤリング、補聴器など、検査に支障をきたすようなものを着用して いる場合は外し、耳栓をして検査となります。	耳音響放射検査法	10分	300	-	
耳鳴検査	耳鳴りの音の種類と大きさを調べる検査です。眼鏡、イヤリング、補聴器など、検査に支障をきたすようなものを着用している場合は外し、ヘッドホンをして検査となります。	耳鳴検査 (ピッチマッチテスト)	10 分	400	-	

○患者の状態によっては検査困難な場合がありますのでご了承ください。検査の際、感染予防策が必要な場合は必ず事前に連絡をお願いします。

11.6 その他の検査

検査項目	検査前の注意事項	検査方法	検査 所要時間	実施料	検査条件	備考
ABI/CAVI	安静仰臥位での検査となります。血圧カフをしますので、人工透析シャント 側や四肢欠損部位での測定はできません。その他、血圧測定制限のある場合 は主治医にご相談いたします。	血圧脈波検査	15 分	100	-	
皮膚再灌流圧測定 (SRPP)	依頼の際に測定部位の指定をお願いします。測定部位に圧迫がない状態で機器を装着し血圧カフによる圧迫を行いますので、創部感染の恐れがある場合は主治医にご相談いたします。	レーザードプラ法	30 分	100	-	
睡眠時無呼吸検査 簡易モニター	指先と鼻に機器を装着していただき睡眠中の酸素の量と呼吸の状態を調べる 検査です。就寝時にご自身で装着して起床時に外していただきます。	生体信号記録	夜間 就寝時間	720	-	
終夜睡眠ポリグラフィー	入院し、就寝時に生体モニター (脳波、筋電図、気流、胸腹壁運動、SpO ₂ など) を装着します。	生体信号記録	夜間 就寝時間	3960	<u>検査は完全予約制です。</u> <u>検査の場合は、循環器内</u> <u>科にコンサルトしてく</u> <u>ださい。</u>	
一般脳波検査	検査時は頭部に電極を装着しますので眼鏡、アクセサリーなどは取り外して いただきます。前日は洗髪し、整髪料などの使用はお控えください。検査時	10-20 法	90分	720	横査は予約制です。 オーダーの際、オープン 枠が入らない場合や ベッド・ストレッチャー	
睡眠脳波	間が長時間になりますので、事前にお手洗いは済ませていただきます。	10-20 法	就寝してから 90 分	850	搬送・ポータブル検査の 場合は生理検査室へご 相談ください。	
経皮酸素ガス分圧	測定前の喫煙は禁止です。カフェインは摂取しないでください。お手洗いは 済ませておいてください。安静を保つようお願いします。	tcpO₂法	15-20 分	100	測定する位置を明確に ご指示ください。	
体液量測定	1分程度自立していただきますので、独歩の方に限ります。ペースメーカー挿 入後の方も検査できません。空腹時での検査になります。	体成分分析法	10 分	60	依頼時に身長の入力を お願いします。	

[○]患者の状態によっては検査困難な場合がありますのでご了承ください。検査の際、感染予防策が必要な場合は必ず事前に連絡をお願いします。

12. 時間外実施検査項目一覧

12.1 時間外実施検査項目

★がついている項目は、パニックバリューが設定されています。

コード	測定項目	材料	検体	容器		
1		血清	量业	桃 5mL(プレーン管)		
1 2	★AST (GOT) ★ALT (GPT)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
3	* ALI (Gr1)	血清		桃 5mL(プレーン管)		
			0.1			
708	★LD (LDH)	胸水	0.1	胸水アングロット(滅菌スピッツ) 腹水アングロット(滅菌スピッツ)		
718		腹水	0.1	環ボノングロット() () () () () () () () () ()		
740	マルカリファフラカーギ	穿刺液	0.1	牙炯攸ノンクロット(厥国スピップ)		
4	アルカリフォスファターゼ (ALP)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
8	γ-GT	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
13	コリンエステラーゼ(Ch-E)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
14		血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
223	★アミラーゼ(AMY)	随時尿	0.1	尿コップ(TMC カップ)		
720	A / C / E (AMI)	腹水	0.1	腹水アングロット(滅菌スピッツ)		
737		穿刺液	0.1	穿刺液アングロット(滅菌スピッツ)		
17	★クレアチンキナーゼ(CK)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
388	CK-MB	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
5		血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
707	1	胸水	0.1	胸水アングロット(滅菌スピッツ)		
717		腹水	0.1	腹水アングロット(滅菌スピッツ)		
724	公居占 (mp)	穿刺液	0.1	穿刺液アングロット(滅菌スピッツ)		
739	総蛋白(TP)	関節液	0.1	関節液アングロット(滅菌スピッツ)		
803		随時尿	0.1	尿コップ(TMC カップ)		
804		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿		
835		髄液	0.1	髄液スピッツ(滅菌スピッツ)		
6		血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
709		胸水	0.1	胸水アングロット(滅菌スピッツ)		
719	アルブミン(ALB)	腹水	0.1	腹水アングロット(滅菌スピッツ)		
232		随時尿	0.1	尿コップ(TMC カップ)		
136		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿		
_	AG比	血清	-	_		
-	A/C 比	随時尿	-	=		
9	総コレステロール (TC)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
10	中性脂肪(TG)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
33	HDL-コレステロール(HDL-C)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
34	LDL-コレステロール(LDL-C)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
-	LDL-コレステロール計算値	-	_	_		
15		血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
215	A 60 18 H 2 18 2 (7 77)	穿刺液	0. 1	穿刺液アングロット(滅菌スピッツ)		
736	★総ビリルビン(T-BIL)	血漿	0.0	ベビー毛細管(毛細管)		
16	直接ビリルビン(D-BIL)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)		
27	★アンモニア (NH ₃)	全血	2	紫 血算 2mL 氷冷(EDTA-2K 入り)		
18	7 / V C - / (m3/	血清	0.1	ボ 監算 Zill 水(i) (EDIN ZK バッ)桃 5mL(プレーン管)		
221	★尿素窒素(BUN)	随時尿	0. 1	Rコップ (TMC カップ)		
51	↑ /// 不 王 / (DON)	蓄尿	0. 1	スピッツ蓄尿		
ÐΙ		亩水	V. I	ハレノノ宙外		

★がついている項目は、パニックバリューが設定されています。

A 1/3"	ついている項目は、ハーツク			
19		血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
222	クレアチニン(CRE)	随時尿	0.1	尿コップ(TMC カップ)
52		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿
-	推算 GFR (eGFR)	_	-	_
20	1,201 0111 (00111)	血清	0. 1	桃 5mL(プレーン管)
225	尿酸(UA)	随時尿	0. 1	尿コップ (TMC カップ)
	/K·by (UA)			
53	A 1 1 11 15 2 (5)	蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿
	★ナトリウム(Na)	4		Lu control
22	★クロール(C1)	血清	0.2	桃 5mL(プレーン管)
	★カリウム(K)			
	ナトリウム(Na)			
132	クロール(C1)	随時尿	0.2	尿コップ(TMC カップ)
	カリウム(K)			
	ナトリウム(Na)			
224	クロール(C1)	蓄尿	0.2	スピッツ蓄尿
	カリウム(K)	1	-, -	> - pad //4 -
836	クロール(C1)	髄液	0.1	髄液スピッツ(滅菌スピッツ)
25) /• (O1)	血清	0. 1	桃 5mL(プレーン管)
	★カルシウム(Ca)			
226	$A \sim A \sim$	随時尿	0.1	尿コップ(TMC カップ)
58		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿
21	fmr. Lelle 11 (75%)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
227	無機リン(IP)	随時尿	0.1	尿コップ(TMC カップ)
54		蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿
26		血漿	0.1	灰 2mL(NaF入り)
62		血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
705		胸水	0.1	胸水アングロット(滅菌スピッツ)
725	★グルコース	関節液	0.1	関節液アングロット(滅菌スピッツ)
735	糖(GLU)	穿刺液	0.1	穿刺液アングロット(滅菌スピッツ)
834		髄液	0.1	髄液スピッツ(滅菌スピッツ)
806		随時尿	0.1	尿コップ(TMC カップ)
805		蓄尿	0. 1	スピッツ蓄尿
106	グリコアルブミン(GA)	血清	0. 1	桃 5mL(プレーン管)
80-87	糖負荷試験	血漿	0. 1	灰 2mL 負荷(NaF 入り)
	ターゲス(血糖日内変動)			
91-99		血漿	0.1	灰 2mL 日内 (NaF 入り)
29	鉄(Fe)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
30	総鉄結合能(TIBC)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
31	マグネシウム(Mg)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
32	_	蓄尿	0.1	スピッツ蓄尿
	24 時間 CCR〈体表面積補正〉	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
131	24 時間クレチニン	蓄尿	0.1	 スピッツ蓄尿
	クリアランス		0.1	
914	エタノール	血漿	0.3	灰 エタノール
301	C 反応性蛋白(CRP)	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
381	トランスサイレチン	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
341	フェリチン	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
322		血清	0. 1	桃 5mL(プレーン管)
367	! 免疫グロブリン IgG	随時尿	0. 1	尿コップ(TMC カップ)
369) July / - / / V 180	髄液	0. 1	髄液スピッツ(滅菌スピッツ)
		_		桃 5mL(プレーン管)
323	免疫グロブリン IgA	血清	0.1	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
370	_	髄液	0.1	髄液スピッツ(滅菌スピッツ)
324	免疫グロブリン IgM	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
372		髄液	0.1	髄液スピッツ(滅菌スピッツ)

★がついている項目は、パニックバリューが設定されています。

327 補体蛋白 C4 血清 0.1 桃 5mL(ブレーン管) 377 リウマチGP子(RF)定量 血清 0.1 桃 5mL(ブレーン管) 378 セイコブラズマ抗体(1gM) 血清 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 378 マイコブラズマ抗体(1gM) 血清 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 384 ブロルシトニン 血精 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 384 ブロルシトニン 血素 0.5 緑 4mL(ベイリン リチウム) 379 ヒト解性N利尿ペプチド(BNP) 血漿 0.5 歳 4mL(のインリン リチウム) 379 ヒト解性N利尿ペプチド(BNP) 血漿 0.5 歳 4mL(FDTA-2Na入り) 585 トゴニンT 血漿 0.5 (加ガス用ディスポ (加ガス用シリンジ) 596 ガス分析(勝帯血) 静脈血 0.5 (加ガス用ディスポ (加ガス用シリンジ) 597 ガス分析(勝帯血) 膵帯血 0.5 (加ガス用ディスポ (加ガス用シリンジ) 598 ガス分析(陰骨血) 混合血 0.5 (加ガス用ディスポ (加ガス用シリンジ) 599 ガス分析(陰骨血) 混合血 0.5 (加ガス用ディスポ (加ガス用シリンジ) 590 ガス分析(混合血) 混合血 0.5 (加ガス用シリンジ) 590 ガェインロ酸ナトリウム 血清 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 590 ガェインロ酸ナトリウム 血清 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 591 ★ルブロをナリウム 血清 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 592 ★泉花達 随時尿 10 深コップ(TMCカップ) 580 ★泉花達 随時尿 10 深コップ(TMCカップ) 581 ★離液 総数(は様域・目視分類)(DIFF) 血液 0.2 紫 血算 2mL(EDTA-2K入り) 583 血液酸(は様域・目視分類)(DIFF) 血液 0.2 紫 血算 2mL(EDTA-2K入り) 581 ★離液 (12 大フロビン等量 (12 大フロトロンビン時間回際標 塩炭 0.2 紫 血算 2mL(EDTA-2K入り) 523 ★フィアリノーゲン(Fib) 血漿 0.2 紫 血質 2mL(EDTA-2K入り) 524 ★アンドトロンビン時間回際標 血浆 0.2 紫 血質 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 525 ★フィアリノーゲン(Fib) 血漿 0.2 黒 藤間 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 531 ★ 10 大田 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 532 ★フィアリノーゲン(Fib) 血漿 0.2 黒 藤間 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 533 ★ 10 大田 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 54 ★フロトロンビン明間医院標 血浆 0.2 黒 藤間 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 553 ★フィアリノーゲン(Fib) 血漿 0.2 黒 藤間 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 554 ★フィアリノーゲン(Fib) 血漿 0.2 黒 藤間 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 555 ★ 10 チャマ・ディグ・ 血漿 0.2 黒 藤間 1.8mL (3.2%クエン酸 Na入り) 557 ★ 12 上の 1.2 上の		21 CT 9 X H 16(1 2) / 1		1947 -	7000
377	326	補体蛋白 C3	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
329 IgE(非特別)	327	補体蛋白 C4	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
329 IgE(非特別)	377	リウマチ因子(RF)定量	血清	0.1	桃 5mL(プレーン管)
378 マイコブラズマ抗体(1gM) 血清 0.3					
334 プロカルシトニン					
394 プレセプシン 血漿 0.5 緑 4mL(ペパリン リチウム) 379 ヒト脳性N和利尿ペプチド(BNP) 血漿 0.3 黄 5mL(EDTA-2Na入り) 595 ガス分析(軟酔脈) 動脈血 0.5 血炭 0.5 血ガス用ディスポ (血ガス用シリンジ) (血ガス用シリンジ) 0.5 (血ガス用シリンジ) 0.5 (血ガス用シリンジ) 0.5 (血ガス用シリンジ) 0.5 (血ガス用シリンジ) 0.5 (血ガス用シリンジ) 0.5 (血ガス用シリンジ) 0.7 (血ガス用シリンジ) 0.7 (血ガス用シリンジ) 0.7 (血ガス用ディスポ (血ガス用シリンジ) 0.7 (血ガス用シリンジ) 0.7 (血ガス用ディスポ (血ガス用ディスポ (血ガス用ディスポ (血ガス用ディスポ (血ガス用ディスポ (血ガス用ディスポ (血ガス用ディスポ (血ガス用シリンジ) 0.3 株 5mL(プレーン管) 0.3 (5mL(ブレーン管) 0.2 (5mR) (-				
379 ヒト脳性 Na 利尿ベブチド (BNP) 血漿 0.3 黄 5mL (EDTA-2Na 入り) 385 トロボーン					
385					
595	379				
596	385	トロポニン I	血漿	0.3	
596	595	ガス分析(動静脈)	動脈血	0.5	
596	596	ガス分析(静脈血)	静脈血	0.5	(血ガス用シリンジ)
598	597	ガス分析(臍帯血)	臍帯血	0.5	血ガス用ディスポ (血ガス用シリンジ)
902 フェニトイン 血清 0.3 桃 5mL (プレーン管) 903 バルプロ酸ナトリウム 血清 0.3 桃 5mL (プレーン管) 904 カルバマゼピン 血清 0.3 桃 5mL (プレーン管) 905 ジゴキシン 血清 0.3 桃 5mL (プレーン管) 906 ※ 原定性 随時尿 10 尿コップ (TMC カップ) 801 ★尿定性 随時尿 10 尿コップ (TMC カップ) 802 ★尿注性 随時尿 10 尿コップ (TMC カップ) 803 ★ 節被 恒核 0.2 紫 血液 ロッツ (Sim スピッツ) 501 ★ 血液 一般検査 (CBC) 血液 0.2 紫 血藻 ロッツ (Sim スピッツ) 503 血液像 (機械・目視分類) (DIFF) 血液 0.2 紫 血藻 2mL (EDTA-2K 入り)	598	ガス分析(混合血)	混合血	0.5	血ガス用ディスポ
903 バルプロ酸ナトリウム 血清 0.3 桃 5mL(プレーン管) 904 カルパマゼピン 血清 0.3 桃 5mL(プレーン管) 905 ジゴキシン 血清 0.3 桃 5mL(プレーン管) 801 ★尿定性 随時尿 10 尿コップ(TMC カップ) 802 ★尿沈渣 随時尿 10 尿コップ(TMC カップ) 831 ★髄液 1.5 髄液 乙ピッツ(滅菌スピッツ) 501 ★直被・般検査(CBC) 血液 0.2 紫 血算 2mL(EDTA-2K入り) 503 血液 (機(機械・目視分類) (DIFF) 血液 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K入り) 604 一般を滑血・破後・上グワーン 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K入り) 605 一般音小・成後(機械・目視分類) (DIFF) 血液 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K入り) 606 一級音小・成後(機械・目視分類) (DIFF) 血液 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K入り) 607 一級一手の上でといといまでは、 2mm 2mm 2mm 2mm 2mm 2mm 2mm 2mm 2mm 2m	902	フェニトイン	血清	0.3	
904 カルバマゼビン 血清 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 905 ジゴキシン 血清 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 801 ★尿定性 随時尿 10 尿コップ(TMC カップ) 802 ★尿沈渣 随時尿 10 尿コップ(TMC カップ) 831 ★離液	903				
905 ジゴキシン 血清 0.3 桃 5mL(ブレーン管) 801					
★尿定性 随時尿 10 尿コップ (TMC カップ) 831					
802 ★尿沈渣 簡時尿 10 尿コップ(TMC カップ) 831 ★ 植液 簡液 1.5 簡液スピッツ(減菌スピッツ) 501 ★血液一般検査(CBC) 血液 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K 入り) 1.5 1	-				
### 1.5 ***	-				
★血液一般検査(CBC)					
503 血液像 (機械・目視分類) (DIFF) 血液 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K入り) 超赤血球数 (レチクロ) 網赤血球数 (レチクロ) 網赤血球数 (レチクロ) 極度子血球比率 (FRC%) 血液 0.2 紫 血算 2mL (EDTA-2K入り) 被降赤血球比率 (FRC%) 細面小板比率 (IPF%) 血漿 0.2 黒 凝固 1.8mL (3.2%クエン酸 Na 入り) ***					
個赤血球数 (レチクロ) 網赤血球へモグロビン等量 (RET-He) 血液 の.2 紫 血算 2mL (EDTA-2k入り) では (RET-He) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	501			0.2	
#	503	血液像(機械・目視分類)(DIFF)	血液	0.2	紫 血算 2mL(EDTA-2K 入り)
	504	網赤血球へモグロビン等量 (RET-He) 破砕赤血球比率(FRC%)	血液	0.2	紫 血算 2mL(EDTA-2K 入り)
1	521	★プロトロンビン時間国際標	血漿	0.2	
★フィフリノーゲン(F16) 血漿 0.2 (3.2%クエン酸 Na 入り) 531 ★アンチトロンビンⅢ (ATⅢ) 血漿 0.2 黒 凝固 1.8mL (3.2%クエン酸 Na 入り) 1.8mL (3.2%クエン酸 Na 入り) 黒 凝固 1.8mL (3.2%クエン酸 Na 入り) 1.21 血液型 ABO、RhD 全血 3.0 紫 6mL 血液型 123 不規則抗体検査 全血 3.0 紫 6mL 血液型 125 クロスマッチ(交差) 全血 3.0 紫 6mL 交差用 四頭 ねぐい液 一 四頭用スワブ 本子ンフルエンザウイルス抗原 鼻咽頭 なぐい液 上 東陸用スワブ 上 アデノウイルス抗原定性 ぬぐい液 一 四頭用スワブ 四頭用スワブ では では では では では では では で	522		血漿	0.2	1111
★リンテトロンピンIII (ATIII) Ⅲ聚 0.2 (3.2%クエン酸 Na 入り) 535	523	★フィブリノーゲン(Fib)	血漿	0.2	(3.2%クエン酸 Na 入り)
10.2 (3.2%クエン酸 Na 入り) 10.2 (3.2%クエン酸 Na 入り) 11.2 血液型 ABO、RhD 全血 3.0 紫 6mL 血液型 123 不規則抗体検査 全血 3.0 紫 6mL 血液型 125 クロスマッチ(交差) 全血 3.0 紫 6mL	531	★アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	血漿	0.2	(3.2%クエン酸 Na 入り)
121	535	★D-ダイマー	血漿	0.2	(3.2%クエン酸 Na 入り)
122 皿液型 ABO、RhD 全皿 紫 6mL 皿液型 123 不規則抗体検査 全血 3.0 紫 6mL 血液型 125 クロスマッチ(交差) 全血 3.0 紫 6mL 血液型 - A群β溶連菌迅速試験定性 咽頭 少い液 - 咽頭用スワブ - インフルエンザウイルス抗原定性 鼻咽頭 かくい液 - 鼻腔用スワブ - アデノウイルス抗原定性 四頭 かくい液 - 咽頭用スワブ - (四頭・結時) ぬぐい液 - 咽頭用スワブ	537	★FDP	血漿	0.2	
125 クロスマッチ(交差) 全血 3.0 紫 6mL 交差用 - A 群 β 溶連菌迅速試験定性 咽頭 少くい液 のでい液 のでい液 のでい液 のでい液 のでい液 のでい液 のでい液 ので		血液型 ABO、RhD		3.0	
- A 群 β 溶連菌迅速試験定性 咽頭 カぐい液 - 咽頭用スワブ - インフルエンザウイルス抗原 鼻咽頭 皮ぐい液 - 鼻腔用スワブ - アデノウイルス抗原定性 咽頭 ぬぐい液 - 咽頭用スワブ	123	不規則抗体檢查	全血	3. 0	紫 6mL 血液型
- A 群 β 溶連菌迅速試験定性 咽頭 カぐい液 - 咽頭用スワブ - インフルエンザウイルス抗原 鼻咽頭 カぐい液 - 鼻腔用スワブ で性 咽頭 カぐい液 - 咽頭用スワブ マデノウイルス抗原定性 ぬぐい液 - 咽頭用スワブ	125	クロスマッチ(交差)	全血	3. 0	紫 6mL 交差用
- 定性 ぬぐい液 - 鼻腔用スワブ アデノウイルス抗原定性 咽頭 - (咽頭・結時) ぬぐい液 - 咽頭用スワブ			咽頭	-	
- アアノワイルス抗原定性	_	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	<u>鼻</u> 咽頭	-	鼻腔用スワブ
	-	アデノウイルス抗原定性	咽頭	-	咽頭用スワブ

		ぬぐい液		
_	RS ウイルス抗原定性	<u>鼻咽頭</u> ぬぐい液	-	鼻腔用スワブ
_	ヒトメタニューモウイルス 抗原定性	<u>鼻咽頭</u> ぬぐい液	-	鼻腔用スワブ
_	マイコプラズマ抗原定性	咽頭 ぬぐい液	-	咽頭用スワブ
-	肺炎球菌抗原定性(尿・髄液)	尿・髄液	1.0	滅菌コップ・滅菌スピッツ
-	レジオネラ抗原定性(尿)	尿	1.0	滅菌コップ・滅菌スピッツ
_	ロタウイルス抗原定性(糞便)	糞便	-	滅菌コップ・直腸便用スワブ
_	アデノウイルス抗原定性 (糞便)	糞便	-	滅菌コップ・直腸便用スワブ
_	ノロウイルス抗原定性	糞便	-	滅菌コップ・直腸便用スワブ
_	脳脊髄膜炎起炎菌 莢膜多糖抗原	髄液	1.0 以 上	滅菌スピッツ
_	デングウイルス抗原定性	全血	0.2	紫 血算 2mL(EDTA-2K 入り)
_	血液培養	血液	10	血液培養ボトル

12.2 時間外条件付実施検査項目一覧

コード	測定項目	材料	検体 量 mL	容器	備考
72	HBs 抗原 (定性) ※	血清	0. 3		
332	HBs 抗原※	.mr. (1)	0.0		
74	HBs 抗体(定性) ※	血清	0.3	lille = x (※針刺し事故に伴う検査の場合の
333	HBs 抗体※	1111月	0. 5	桃 5mL(プレーン管)	<u>測定</u>
75	HCV 抗体※	血清	0.3		<u> </u>
77	HIV 抗原・抗体※	血清	0.3		
	新型コロナウイルス (遺伝子検査)	<u>鼻咽頭</u> ぬぐい液		鼻腔用スワブ	

コード	測定項目	材料	検体 量 LL	容器	備考
315	β HCG	血清	0.3	桃 5mL(プレーン管)	土曜日、日曜日、
911	バンコマイシン投与前	血清	0.3	桃 5mL 薬物投与前 (プレーン管)	祝祭日、年末年始 の特別体制時のみ 測定。

13. 時間外保存検査項目

コード	測定項目	材料	容器	検査部での取り扱い
46		血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
60	浸透圧	随時尿	尿コップ(TMC カップ)	遠心分離後、冷蔵保存
63	ヘモグロビン Alc	全血	灰 2mL(NaF入り)	そのまま冷蔵保存
66	ヘモグロビン F(HbF)	全血	灰 2mL(NaF入り)	そのまま冷蔵保存
344	耐糖能精密検査(インスリン)	血漿	灰 2mL 負荷(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
336	HBc 抗体	血清	感染症 桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
339	IgM-HA 抗体	血清	感染症 桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
76	HTLV- I 抗体	血清	感染症 桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
71	梅毒血清反応 TP 抗体	血清	感染症 桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
70	梅毒血清反応 RPR 法	血清	感染症 桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
386	エンドトキシン定量	<u>血漿</u>	ETX・βGL用 (ヘパリン ナトリウム)	そのまま冷蔵保存
387	β-Dグルカン	血漿	ETX・βGL 用 (ヘパリン ナトリウム)	そのまま冷蔵保存
340	α 7 ェトプ [°] p テイン (AFP)	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
342	CEA	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
720	CEA		穿刺液アングロット	遠心分離後、冷蔵保存
738	CEA CA19-9	穿刺液	(滅菌スピッツ)	
343	CA19-9	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
374	PSA	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
375	PSA F/T 比	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
390	サイトケラチン 19 フラク・メント (CYFRA)	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
380	PIVKA-II	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
391	AFP レクチン分画(AFPL3%)	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
391	AFP L3%	血清	 桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
373	T-AFP(総 AFP)	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
	TSH(甲状腺刺激ホルモン)		·	
362	FT3(遊離トリョードサイロニン)	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
363	FT4(遊離サイロキシン)	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
372	インスリン(IRI)	血漿	灰 2mL(NaF入り)	遠心分離後、冷蔵保存
393	CA125	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
392	CA15-3	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
411 412	コルチゾール	血清	桃 5mL(プレーン管)	遠心分離後、冷蔵保存
-	UGT1A1 JAK2V617F/CALR 変異解析 PNPLA3	血液	赤 2mL(EDTA-2K 入り)	冷蔵保存
_	髄液以外の穿刺液	-	滅菌スピッツ	冷蔵保存
_	一般細菌	-	喀痰容器、カルチャースワブ 滅菌コップ、滅菌スピッツ等	冷蔵保存
-	クロストリジウム・ディフィシル (CD)抗原・毒素定性	糞便	滅菌コップ	冷蔵保存
-	細胞診	_	スライドガラス、滅菌スピッツ 滅菌コップ、尿コップ等	冷蔵保存
_	組織診	_	ホルマリンの入った容器	室温保存
=	新型コロナウイルス(遺伝子検査)	<u>鼻咽頭</u> ぬぐい 液	鼻腔用スワブ	冷蔵保存
	1			

検査案内書 QT-品質-0025 Ver. 2

14. パニックバリュー

14.1 運用方法

報告対象の項目、値は、裏面を参照

パニックバリューは、原則、前回値もパニックバリューだった結果に対しては、 糖以外は、連絡を行いません。

検査項目によって、除外される条件があります。条件は、パニックバリュー一覧を 参照ください。

患者の採血間違いを疑われるような結果の場合、パニックバリューに該当しなくても 同様の連絡を行います。

検査部では、輸液の混入や抗凝固剤の混入など全てを否定することはできません。 結果の解釈には、採血時の状況なども考慮して判断してください。

パニックバリューの発生



検査過誤の確認

分析器の状態、精度管理の状況、検体の性状(フィブリンの析出等)の確認 必要に応じ、再検査を実施



検査過誤が認められなかった場合

依頼医へ連絡

依頼医へ連絡が取れなかった場合、主治医へ連絡

依頼医、主治医ともに連絡が取れなかった場合、依頼元へ連絡

14.2 パニックバリュー報告一覧

検査項目	材料	緊急報告値	備考
AST (GOT)	血清	1000U/L 以上	
ALT (GPT)	血清	1000U/L以上	
LD (LDH)	血清	1500U/L以上	溶血検体は、除外
アミラーゼ(AMY)	血清	1000U/L以上	
総ビリルビン (T-BIL) クレアチンキナーゼ	血清	20.0mg/dL以上	
クレアチンキナーゼ (CK)	血清	1000U/L 以上	
尿素窒素(BUN)	血清	80mg/dL以上	透析患者は、除外
ナトリウム(Na)		155mmoL/L以上 120mmoL/L以下	
クロール(C1)	血清	120mmoL/L以上 80mmoL/L以下	
カリウム(K)		6.5mmoL/L以上 2.5mmoL/L以下	透析患者、溶血検体は、除外
カルシウム(Ca)	血清	14.0mg/dL以上 6.0mg/dL以下	
糖(GLU)	血漿	500mg/dL以上	前回値とは関係なく報告する。
//音 (GLU)	血清	50mg/dL以下	3 0
アンモニア(NH ₃)	血液	400N-μg/dL以上	
血液一般検査(CBC)		_	
白血球数 (WBC)		50. 0×10 ³ /μL以上 1. 0×10 ³ /μL以下	特定疾患(血液疾患など)は除 く
ヘモグロビン濃度 (Hb)	血液	5. 0g/dL 以下	特定疾患(血液疾患など)は除 く
血小板数(PLT)		1000×10³/μL以上 30×10³/μL以下	特定疾患(血液疾患など)は除 く
PT(s)	血漿	50 秒以上	
PT-INR	血漿	3.5以上	
APTT	血漿	200 秒以上	
フィブリノーゲン(Fib)	血漿	100mg/dL 以下	
AT III	血漿	30%以下	
FDP	血漿	40 μ g/mL 以上	
Dダイマー	血漿	20μg/mL以上	
尿定性	尿	ケトン体 (3+)以上	
尿沈査	尿	男性で糞便混入を認めた 場合	
髄液検査	髄液	糖 20mg/dL以下 細菌、真菌、異型細胞を 認めた場合	

15. 菌種別薬剤感受性検査項目

		×14/			- <i> </i>	旦つ	· · ·							Т										1			1	1								1					
	ペ	ニシ	リン	系		クタマ				セフ	フェム	系			カノ	レバ 系	ペネ 薬	ム			ブリ = 薬	シド	系	マ <u>:</u> ト	クロ ・ 系薬	ライ 薬	% 1	+	ノロ	ン系	薬	※ 2	*	€3	** 4	※ 5		7	その作	也	
系統	PCG	MPIPC	ABPC	PIPC	SBT/CPZ	SBT/ABPC	TAZ/PIPC	CEZ	CMZ	CDTR	CTRX	CAZ	CFPM	CZ0P	IPM	MAJM	DRPM	Mdal	GM	GM(高濃度)	TOB	AMK	ABK	EM	CAM	AZM	MINO	CPFX	LVFX	GRNX	STFX	CLDM	VCM	TEIC	LZD	DAP	ST	FOM	CL	RFP	MNZ
ブドウ球菌		0				0		0			0		0										0	0			0		0			0	0	0	0	0	0			0	
腸球菌	0		0			0				0	0					0		0	0	0					0	0	0		0	0		0	0			0					
肺炎球菌	0		0			0				0	0					0		0	0	0					0	0	0		0	0		0	0			0					
レンサ球菌	0		0			0				0	0					0		0	0	0					0	0	0		0	0		0	0			0					
モラキセラ菌	0		0			0				0	0					0		0	0	0					0	0	0		0	0		0	0			0					
インフル エンザ菌	0		0			0				0	0					0		0	0	0					0	0	0		0	0		0	0			0					
腸内細菌科			0			0	0	0	0		0	0	0		0	0					0							0	0								0	0	0		
緑膿菌				0			0					0	0	0	0	0	0				0	0					0	0	0	0	0						0				
マルトフィリア				0			0					0	0	0	0	0	0				0	0					0	0	0	0	0						0				
その他ブドウ 糖非発酵菌				0			0					0	0	0	0	0	0				0	0					0	0	0	0	0						0				
アシネト バクター			0			0	0	0	0		0	0	0		0	0					0							0	0								0	0	0		
アエロモナス			0			0	0	0	0		0	0	0		0	0					0							0	0								0	0	0		
ビブリオ			0			0	0	0	0		0	0	0		0	0					0							0	0								0	0	0		
キャンピロ バクター	0		0			0				0	0					0		0	0	0					0	0	0		0	0		0	0			0					
バチルス		0				0		0			0		0										0	0			0		0			0	0	0	0	0	0			0	
コリネバク テリウム	0		0			0				0	0					0		0	0	0					0	0	0		0	0		0	0			0					
嫌気性菌	0		0		0	0	0	0	0		0					0	0									0	0			0	0	0									0

16. 採血管一覧•



桃 5ml プレーン管



紫 血算2ml EDTA-2K 入り



黒 凝固1.8ml 3.2%クエン酸 Na 入り



黄 5ml EDTA-2Na 入り



灰 2ml NaF入り



赤 5ml プレーン管分離剤入り



緑 4ml ヘパリン リチウム



血沈用(長黒) 3. 2%クエン酸 Na 入り



紫 6ml



輸血前保存用専用



ETX・BGL 用 ヘパリン ナトリウム



茶 7ml プレーン管



ベビー毛細管



黒 凝固 1.8ml 3. 2%クエン酸 Na 入り

血小板機能検査専用容器



赤 2ml EDTA-2K 入り

17. 採取容器一覧







滅菌コップ



カルチャースワブ



カルチャースワブ



滅菌スピッツ



血液培養ボトル (好気)



血液培養ボトル (嫌気)



血液培養ボトル (小児)



嫌気ポーター



咽頭用スワブ (迅速検査用)



鼻腔用スワブ (迅速検査用)



直腸便用スワブ (迅速検査用)



尿コップ (ハルンカップ)



採便容器 (エムアイカップ)



ホルマリン容器

※カルチャースワブはオレンジと青で綿棒の大きさが違います。採取部位により使い分けください。

※尿コップは滅菌されていませんので微生物検査には原則使用できません。

※採便容器は滅菌されていませんので微生物検査には原則使用できません。

※ホルマリン容器は原則時間内に病理検査室に取りに来て下さい。

18. 主な外注項目一覧

18. 1SRL

エトスクシミト゛

詳細は SRL 検査案内書をご参照ください

1) 五十音順

ア行	ア行	力行
アスペルギルス抗原	エラスターセ゛1	凝固活性第XⅢ因子(F13)
アスペルギルス抗体	エリスロホ [°] エチン	凝固活性第X因子(F10)
アセタソ゛ミラト゛	塩酸ピルジカイニド	凝固抑制第V(5)因子
アテ゛ノウイルス (CF)	エンテロウイルス 70, 71 型 (NT)	凝固抑制第Ⅷ(8)因子
アデノウイルス 1-8, 11, 19, 21, 37 型	エンテロウイルス RNA (RT-PCR)	凝固抑制第IX(9)因子
(NT)	黄体形成ホルモン(LH)	凝固抑制第X(10)因子
アテ゛ノシンテ゛アミナーセ゛ (ADA)	オステオカルシン	クラミシ゛アトラコマテイス
アプ゜リンシ゛ン	オーム病クラミト゛フィラ(クラミシ゛アシッタシ)	IgA, IgG, IgM(ELISA)
アポリポ蛋白 A- I ・ II, B, C- II・	オリコ゛クローナルハ゛ント゛ (IEF)	クラミシ゛アトラコマテイス DNA
III, E	力行	クラミト゛フィラ(クラミシ゛ア)シッタシ
アミオタ゛ロン	カ゛ストリン	IgG, IgM(FA)
アミカシン	可溶性 IL-2 レセプター	クラミト゛フィラ(クラミシ゛ア)ニューモニエ
アミラーセ゛アイソサ゛イム	可溶性フィブリンモノマー複合体 SFMC	IgA, IgG, IgM
アミロイト β 1-42	カテコールアミン 3 分画	クリオグロブリン定性
アルト、ステロン	カ゛ハ゛へ゜ンチン	クリプトコックス ネオフォルマンス抗原定量
アルト、ラーセ、	カルシトニン	グルカゴン(IRG)
アルヘ゛カシン	カルニチン分画	クロナセ゛ハ゜ム
アルミニウム (A1)	肝細胞増殖因子(HGF)	クロハ゛サ゛ム
アンキ゛オテンシン I 転換酵素(ACE)	カンシ゛タ゛マンナン抗原(ELISA)	結核菌特異的 IFN-γ ELISPOT
アンチフ゜ラスミン	寒冷凝集反応	結核菌特異的 IFN-γ (SPOT)
異性間 BMT (FISH)	寄生虫抗体スクリーニング	結石分析(成分比率)
胃癌 HER2 タンパク(IHC)	キメリズム解析移植後 PCR	血液疾患 G-BAND-ALL
胃癌 HER2 遺伝子(FISH)	キメリズム解析移植前ドナー PCR	血液疾患 G-BAND-BMT
インスリン抗体	キメリズム解析移植前レシピエント PCR	血液疾患 G-BAND-CLL
インフルエンザウイルス A 型・B 型(CF)	凝固活性第Ⅱ因子(F2)	血液疾患 G-BAND-MDS
ウイルス遺伝子検査	凝固活性第V因子(F5)	血液疾患 G-BAND-ML
エコーウイルス 3, 7, 11, 12 型(HI)	凝固活性第Ⅶ因子(F7)	血液疾患 G-BAND-MM/PL
エコーウイルス 1, 3-7, 9, 11-14, 16-19,	凝固活性第Ⅷ因子(F8)	血液疾患 G-BAND-MPN
21, 22, 24, 25, 30 型 (NT)	凝固活性第IX因子(F9)	血液疾患 G-BAND その他リンパ 性
エストラシ゛オール (E2)	凝固活性第XI因子(F11)	血液疾患 G-BAND その他骨髄性

凝固活性第XⅡ因子(F12)

血清 NTX(骨粗鬆症)

抗ストレプトリジンー0 抗体(ASO)

抗セントロメア抗体(ELISA)

カ行	力行	サ行
血清アミロイドA蛋白(SAA)	抗デスモグレイン 1 抗体	シスタチン C
血清抗 P53 抗体	抗デスモグレイン3抗体	ジソピラミド
血清総サイロキシン(T4)	抗ヘリコバクターピロリ IgG 抗体	絨毛性ゴナドトロピン(HCG)
血清補体価	抗マイクロゾーム抗体 マイクロゾームテスト	心筋トロポニン T
血中アミノ酸分析(39種類)	抗ミトコンドリア M2 抗体	推算 GFRCYS
血中ケトン体分画(静脈血)	抗ミトコンドリア抗体	水痘・帯状ヘルペス IgG(EIA)検討
血中脂質酸分画	抗胃壁細胞抗体	水痘・帯状ヘルペスウイルス DNA
ケ゛ンタマイシン	抗核抗体(ANA)	成長ホルモン(GH)1
坑 BP180 抗体	抗血小板抗体	赤血球表面マーカー検査 CD55
抗 DNA 抗体(RIA)	抗好中球抗体	赤血球表面マーカー検査 CD59
抗 DS-DNA IgG 抗体(ELISA)	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	セルロフ。ラスミン
抗 GAD 抗体	抗内因子抗体	セレン
抗 GBM 抗体	抗平滑筋抗体	先天異常染色体 G-BANDING
抗 IA-2 抗体	抗利尿ホルモン(AVP)	総ホモシステイン
抗 J0−1 抗体	高感度 PNH 型血球検査	総胆汁酸
坑 LKM-1 抗体	高分子量アデイポネクチン(CLEIA)	ソ゛ニサミト゛
坑 RNA ポリメラーゼⅢ抗体	コクサッキー ウイルス A 郡 9 型(CF)	タ行
坑 RNP 抗体	コクサッキー ウイルス A 郡 2-9, 10, 16 型	単純ヘルペスウイルス DNA (PCR)
坑 SCL-70 抗体	(NT)	単純ヘルペスウイルス DNA 定量
坑 SM 抗体	コクサッキー ウイルス B郡 1-6型(NT)	蛋白分画
તSS-A/RO 抗体	骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	ツツカ゛ムシ カトー IgG, IgM (FA)
તSS−B/LA 抗体	コハク酸シヘ、ンソ、リン	ツツカ゛ムシ カーフ゜ IgG, IgM(FA)
抗SS-DNA IgG 抗体(ELISA)	コレステロール分画	ツツカ゛ムシ ギリアム IgG, IgM(FA)
坑アクアポリン 4 抗体(ELISA)	サ行	低カルホ゛キシル化オステオカルシン (UCOC)
坑アセチルコリンレセフ [°] ター抗体	サイトメカ゛ロウイルス (CF)	テオフィリン
抗アニサキス IgG・A 抗体	サイトメカ゛ロウイルス DNA (PCR)	テストステロン
炕ガラクトース欠損 IgG 抗体	サイトメガロウイルス核酸検出(新生児	透析液中エンドトキシン RO水
亢カルジオピリン・β2GP I 抗体	尿)	透析液中エンドトキシン その他
亢カルジオピリン抗体(IgG)	サイロク゛ロフ゛リン	透析液中エンドトキシン 調製液
元サイログロブリン抗体	サリチル酸	トキソプラズマ IgG 抗体・IgM 抗体
抗サイログロブリン抗体 サイロイドテスト	酸化 LDL (MDA-LDL)	トータル PAI-1(TPA PAI-1複合体
抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	消化状態	トブ・ラマイシン
抗ストレプトキナーゼ抗体(ASK)	ジ゙アゼパム	トランスフェリン

トリコスポロン・アサヒ抗体

トリコフィトン

シアリル LEX- I 抗原(SLX)

シアリル TN 抗原(STN)

タ行

トリョート サイロニン(T3)

トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体

トロンボ モシ ュリン

ナ行

日本脳炎ウイルス(CF)

日本脳炎ウイルス(JAGAR 株)(HI)

乳酸

尿中 5-HIAA

屎中 8-ハイドロキシデオキシグアノシン

尿中 C-ペプチド(CPR)

尿中 HVA

尿中 VMA

尿中β2-マイクロク゛ロフ゛リン

尿中アミノ酸分析(41種類)

尿中アルドステロン

尿中アルブ、ミンン(クレアチニン換算値)

尿中アテコールアミン3分画

尿中コルチゾール

尿中トランスフェリン

尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)

尿中ミオグロビン

尿中総到素

尿中免疫電気泳動

ノロウイルス RNA

ハ行

肺サーフアクタント プロテイン A(SP-A)

肺サーフアクタント プロテイン D(SP-D)

肺癌 ALK 遺伝子(FISH)

破傷風抗体

白血球中 α ーカ゛ラクトシナーセ゛A

白血病キメラマルチスクリーニング

ハプトク゛ロヒ゛ン

パラインフルエンザウイルス 1,2,3型(HI)

ハロヘ゜リト゛ール

ヒアルロン酸

ハ行

t * タミン B1, B2, B12

ビタミン C(アスコルビン西娑)

とトハ°ルホ゛ウイルス B19DNA (PCR)

ヒトヘルペスウイルス 6型 IgG・IgM(FA)

ヒトヘルペスウイルス 6型 DNA (PCR)

ヒトヘルペスウイルス8型DNA定量

百日咳抗体(EIA)

百日咳菌 DNA

ピルビン酸

フィブリンモノマー複合体定量

風疹ウイルス IgG(EIA)検診

フェノハ゛ルヒ゛タール

フォン・ウィルブランド因子活性

フォン・ウィルブランド因子抗原定量

副甲状腺ホルモン(PTH)ーインタクト

副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrp)

副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)

福山型筋ジストロフィー DNA 挿入 PCR

プ ラスミノーケン

フリーテストステロン

フレカイニト゛

プ゚ロケ゛ステロン

プロコラーゲン**Ⅲ**ペプチド(P−**Ⅲ**−P)

プ ロテイン C (抗原量)

プロテイン C 活性

プロテルS活性

プロテインS抗原量(トータル)

プ ロテイン S 抗原量(フリー)

プ。ロトロンヒ、ン フラク、メント F1+2

プ。ロラクチン

ペプ゚シノゲン

ベプリジン

便中ヘリコバクターピロリ抗原

ボリコナゾール

マ行

マイクロサテライト不安定性検査(MSI)

マイコフ°ラス、マ ニューモニエ(PA)

麻疹ウイルス IgG(EIA)検診

麻疹ウイルス RNA (RT-PCR)

マンカ゛ン

ミエリン塩基性蛋白(MBP)

ミオク゛ロヒ゛ン

ムンフ°スウイルス IgG(EIA)検診

メキシレチン

メタネフリン 2 分画

メタネフリン 2 分画(尿)CRE

免疫グロブリンH鎖IH再構成

免疫グロブリン L 鎖 J κ 再構成

免疫グロブリン遊離 L 鎖 κ / λ 比

免疫電気泳動(抗け全血清)

免疫電気泳動(特異抗血清)

免疫複合体(C1Q)

メタネフリン総(尿)

ヤ行

有機酸スクリーニング検査

游離脂肪酸(NEFA)

葉酸

ラ行

ラモトリキ゛ン

卵胞刺激ホルモン(FSH)

リゾ・チーム

リハ° ーセ゛

リホ°フ°ロテイン(A)

リポ蛋白リパーゼ(LPL)

リポ 蛋白分画(DISK)

淋菌 C. トラコマチス DNA 同時同定

淋菌 クラミジアトラコマチス同時同定

rRNA

淋菌 DNA

リン酸化タウ蛋白

検査案内書 QT-品質-0025 Ver. 2

ラ行

ルーフ。スアンチコアク、ラント (DRVVT)

ルーフ。スアンチコアク゛ラント(PL 中和)

レチノール結合蛋白(RBP)

レニン活性(PRA)

レニン定量(活性型)

レムナント様リホ°蛋白(RLP)コレステロール

ロタウイルス抗原(ELISA)

2)アルファベット順

ADAMT13 インヒビ、ター定量 ADAMT13 活性 ALP アイソサ、イム ARS 抗体

BCL6 3Q27 転座(FISH)

BCR-ABL T(9;22)転座(FISH)

BTR. BCAA. TYR

U .

C1 インアクチへ、一タ活性 CA72-4 (ECLIA) CCR4 タンハ゜ク (FCM)

CCR4 タンハ°ク(IHC)

CPK アイソサ゛イム

CU(銅)

D

D13S319DEL(13)(FISH)

DEL(1)短腕欠失 DEL(19)長腕欠失

DHEA-S DLST

DUPAN-2

Е

EB ウイルス DNA (PCR)

EB ウイルス DNA 定量

EGFR タンハ゜ク

EGFR 変異解析 (v2.0)

EML4-ALK 融合遺伝子定性

FGFR1 8P12 転座

F

FIP1L1-PDGFR α 4Q12 欠失

FLT3/ITD 変異解析

FLT3 変異解析 ITD/TKD

FTA-ABS IgG

F

FTA-ABS 定量

Н

HANP HA 抗体

HBCRAG

HBV (プ レコア/コアプ ロ)

HBV ケ゛/タイプ (EIA)

HCG

HCG-β サフ゛ユニット

HCV DCV 耐性変異(L31/Y93)

HCV RNA コアシ゛ェノタイフ゜

HCV 群別(グルーピング)

HCV 抗原(コア蛋白質)

HIT 抗体

HIV-1RNA 定量(リアルタイム PCR)

HIV-1 抗体(WB) HIV-2 抗体(WB)

HIV-RNA 薬剤耐性検査

HLA-A (DNA タイヒ°ンク゛)

HLA-A, B(血清対応型タイピング)

HLA-B (DNA タイヒ°ンク゛) HLA-C (DNA タイヒ°ンク゛)

HLA-DR(血清対応型タイピング)

HLA-DRB1 (DNA タイヒ°ンク゛)

HPV DNA (16型18型 その他HR)

HTLV- I プロウイルス DNA (クロナリティ)

HVA

HVA(尿)CRE

1

IgA-HEV 抗体(定性)

IGF-I (ソマトメシ゛ン C)

IgG4

IgG インテ゛ックス

IgG サブクラス分画

IgG 型リウマチ因子

IgH/CMYC T(8; 14) (FISH)

IgH-BCL1 T(11;14) (FISH)

IgH-BCL2 T(14;18) (FISH)

IgH/FGFR3 T(4;14)転座 FISH

IgH/MAF T(14;16)転座 FISH

IL-10 (インターロイキン 10)

IL-6(インターロイキン 6)

INTACT P I NP

K

KL-6

LDH アイソサ゛イム

EDII / [//

...

MAC 抗体

MAJORBCR-ABL1MRNA(IS)

MINOR BCR-ABL ABL 変異解析

MINOR-BCR キメラ MRNA 定量

KMT2A-AFF mRNA 定量

KMT2A-MLLT3 mRNA 定量

MMP-3 (マトリックスメタロフ°ロテイナーセ*3)

MPO-ANCA

N

NCC-ST-439

N-MYC 2P24 増幅(FISH)

NSE(神経特異エノラーセ*)

N

NTX(骨粗鬆症)

N アセチル―ク゛ルコサミニタ゛ーセ゛(NAG)

C

ONCOTTPEDX(前処理)

ONCOTYPEDX BREAST

Р

P. カリニ(P/JIROVECII) DNA (PCR)

Ρ

P53 DEL(17)短腕欠失(FISH)

PAIgG(血小板関連 IgG)

PDGER β 5Q33 転座

PD-L1

PML-RARAT (15;17) 転座 FISH

PML-RARA MRNA 定量

PR3-ANCA

PRO GRP

R

RAS/BRAF 遺伝子変異解析

RS ウイルス (NT)

ROS1

S

SCC

SD LDL

SPAN-1

Τ

TARC

TOTAL P1NP

TPA

TRACP-5 b

TSH レセプター抗体

TSH レセプター抗体(第3世代)

Τ

T 細胞レセプターβ鎖 Cβ1 再構成

Τ 細胞レセプタ-β鎖 Ϳβ1 再構成

T 細胞レセプターγ鎖 Jγ再構成

Τ細胞レセプタ-δ鎖 Ϳδ1 再構成

V

VIP(バソアクテイブ腸管ペプチド)

VMA

VMA(尿)CRE

7

Zn(亜鉛)

数字・ギリシャ文字

1,25-(OH)2 ビタミン D

1,5AG

5-HIAA

15 染色体(プラダーウイリ症候群)

17-KS7 分画

17-OH プロゲステロン

18 染色体(FISH)

22 染色体(22Q11 欠失)(FISH)

I CTP

IV型コラーケン

IV型コラーケ`ン・7S

 α 1 アンチトリフ° シン

α 2PI プラスミン複合体(PIC)

β 2-マクロク゛ロフ゛リン

18.2BML

1) 五十音順

ア行

アトピー鑑別試験

力行

結核菌 DNA (リアルタイム PCR)

抗酸菌感受性(4薬剤以上)

抗酸菌同定(DDH法)

サ行

サイトメカ゛ロウイルス IgG(EIA)

サイトメカ゛ロウイルス IgM(EIA)

サイトメカ゛ロウイルス pp65 抗原

C7-HRP(直接酵素抗体法)

水痘・帯状ヘルペスウイルス(CF)

水痘・帯状ヘルペ スウイルス 1型(NT)

水痘・帯状ヘルペ スウイルス 2型(NT)

水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG(EIA)

水痘・帯状ヘルペスウイルス IgM(EIA)

タ行

単純ヘルペスウイルス(CF)

単純ヘルペ スウイルス 1型(NT)

単純ヘルペスウイルス 2型(NT)

単純ヘルペスウイルス IgG(EIA)

単純ヘルペスウイルス IgM(EIA)

特異的 IgE

ハ行

tトパルボウイルス B19 IgM(EIA)

風疹ウイルス

風疹ウイルス IgG(EIA)

風疹ウイルス IgM(EIA)

麻疹ウイルス IgG(EIA)

麻疹ウイルス IgM(EIA)

麻疹ウイルス(HI)

マ行

マイコフ゜ラス゛マニューモニエ DNA (LAMP)

ムンフ°スウイルス IgG(EIA)

ムンフ°スウイルス IgM(EIA)

2)アルファベット順

Е

EB ウイルス抗 EA IgG(EIA)

EB ウイルス抗 EA-DR IgA(FA)

EB ウイルス抗 EA-DR IgG(FA)

EB ウイルス抗 EBNA (FA)

EB ウイルス抗 EBNA IgG(EIA)

EB ウイルス抗 VCA IgA(FA)

EB ウイルス抗 VCA IgG(EIA)

EB ウイルス抗 VCA IgG(FA)

EB ウイルス抗 VCA IgM(EIA)

EB ウイルス抗 VCA IgM(FA)

Н

HCV モニターセット(モニターケ゛ノタイフ。)

M

MAC DNA (リアルタイム PCR)

M2BPGI

WT1 mRNA 定量 RT-PCR

BML 専用採血管及び採取容器



茶7ml BML



紫5ml BML



WT1血液BML



WT1骨髄BML

※詳細はBML検査案内書をご参照ください

検査案内書 QT-品質-0025 Ver. 2

18.3 その他外注項目

株式会社 シー・アール・シー: クウォンティーフェロン ゴールド

公益財団法人 佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センター:精液検査

株式会社ネクシス 心電図解析センター:長時間心電計(解析)

久留米大学病院 病理部:病理組織検査

株式会社 ケーズメディカル 心電図解析センター:イベント心電計(解析)

株式会社 スリープメディカル 終夜睡眠ポリグラフィー(解析)

19. 検査部所在

以下の佐賀県医療センター 好生館 2F フロアマップをご参照下さい。

2F



検体検査受付:27 採血・採尿室、検体検査室 生理機能検査受付:28 心電図・エコー・脳波室

20. 電子依頼の画面見本

1) 検体検査



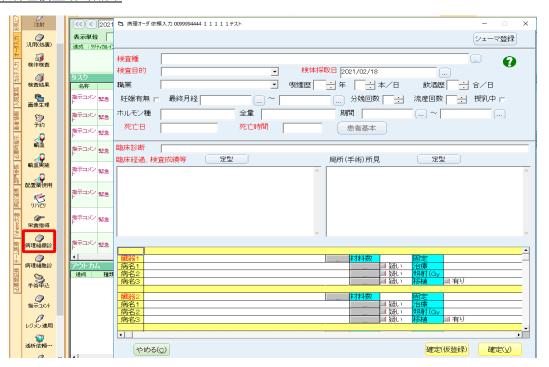
2)細菌検査



3) 生理検査



4) 病理検査(組織診)



5)病理検査(細胞診)



改版レビュー

表紙および改版/レビュー履歴の削除 目次の項目追加(1.10、9.4、20)

- 1.1 1) 文言の追加
- 1.10 採取に使用された材料の廃棄の追加
- 2. 検査項目の削除(HCV RNA 定量、ICG 停滞率、IgM HBc 抗体、24 時間血圧、イベント心電図、酸素飽和度測定、内臓脂肪測定)、

検査項目の追加(新型コロナウイルス(遺伝子検査)、新型コロナウイルス抗原定性、体表 超音波検査)、項目名の変更(網赤血球数)

- 3.1 検査方法の変更(LD、ALP)・基準範囲の変更(ALP)、 追加可能時間の変更(AST、ALT、γ-GT、Ch-E、AMY、CK、CK-MB)
- 3.2 材料の変更(T-Bil)、検査方法の変更(HDL-C、LDL-C)、所要日数の変更(TP)、 実施料の変更(ALB(随時尿、蓄尿))、

追加可能時間の変更(TP、ALB、A/G 比、TC、TG、HDL-C、LDL-C、D-BIL)

- 3.3 材料の変更(NH₃)、実施料の変更(Na、K、C1(血清、随時尿、蓄尿)、浸透圧(血清)) 追加可能時間の変更(BUN、CRE、UA、Ca、IP)
- 3.4 検査項目の削除(ICG 停滞率)、材料の変更(HbA1c、HbF)、 検査方法の変更(Fe、TIBC)、実施料の変更(エタノール) 追加可能時間の変更(GLU(血漿)、HbA1c、HbF、GA、TIBC、Mg)
- 4.1 実施料の変更(フェリチン)、追加可能時間の変更(IgE 以外)
- 4.2 項目の削除(IgM HBc 抗体、HCV RNA 定量)、

材料の変更(エンドトキシン定量、β-D グルカン)、

採取ラベルの変更(マイコプラズマ抗体、PCT)、

基準範囲の変更 (HBs 抗体、HBc 抗体、IgM-HA 抗体、エンドトキシン定量、 β -D グルカン) 実施料の変更 (HBc 抗体、HCV 抗体、HIV 抗原・抗体、エンドトキシン定量、 β -D グルカン、HBV DNA 定量)、

追加可能時間の変更 (HBs 抗原 (定性)、HBs 抗原、HBs 抗体 (定性)、HBs 抗体、HBc 抗体、IgM-HA 抗体、HCV 抗体、HIV 抗原・抗体、HTLV-1 抗体、梅毒血清反応 (TP 法、RPR 法)、マイコプラズマ抗体、PCT)

- 4.3 検査項目名の変更 (PSA F/T 比)、基準範囲の変更 (PSA F/T 比、PIVKA-II、FT3)、 実施料の変更 (AFP、CEA、CA19-9、PSA、PSA F/T 比、CYFRA、CA125、PIVKA-II、β HCG、 TSH、FT3、FT4、IRI、コルチゾール、トロポニン I) 追加可能時間の変更 (BNP 以外)
- 5材料の変更(シクロスポリン、タクロリムス)、

実施料の変更(ガス分析(動静脈、静脈血、臍帯血、混合血))

追加可能時間の変更(フェニトイン、バルプロ酸ナトリウム、カルバマゼピン、ジゴキシ

ン、シクロスポリン、タクロリムス、バンコマイシン投与前、バンコマイシン投与後)

7.1 検査項目名の変更(網赤血球数)、網赤血球へモグロビン等量)

検査方法の変更(HPC、HPC%、PT、APTT、Fib、D-ダイマー、FDP)

実施料の変更(D-ダイマー)、追加可能時間の変更(APTT)

- 7.2 実施料の変更(骨髄検査 細胞数、分類、所見)
- 7.3 検査方法、追加可能時間の変更(全項目)、実施料の変更(PBSC 以外)
- 8 実施料の変更(血液型)、備考の追加(全項目)
- 9.1 容器の追加(好気性菌培養・同定(糞便・胆汁など、その他穿刺液、その他材料)) 実施料の変更(塗抹鏡検、好気性菌培養・同定(血液、髄液、その他穿刺液)、嫌気性菌培養・同定)、採取・提出条件の追加(好気性菌培養・同定)
- 9.3 実施料の変更(塗抹鏡検、分離培養・同定(血液又は穿刺液))
- 9.4 遺伝子検査の追加(新型コロナウイルス)
- 9.5 材料名の変更(インフルエンザウイルス抗原定性、RS ウイルス抗原定性、ヒトメタニューモウイルス抗原定性)

実施料の変更 (A 群 β 溶連菌迅速試験定性、インフルエンザウイルス抗原定性、アデノウイルス抗原定性、RS ウイルス抗原定性、ヒトメタニューモウイルス抗原定性、肺炎球菌抗原定性、レジオネラ抗原定性、脳脊髄膜炎起炎菌莢膜多糖抗原)

追加可能時間の変更(デングウイルス抗原定性)

- 10.1 検体量、容器の変更(細胞診(一般、術中迅速、気管支肺胞洗浄液)) 保存時間の変更(細胞診(喀痰、一般、捺印))
- 10.2 容器、保存の変更(セルブロック)、保存、検査方法の変更(術中迅速組織診) 実施料の変更(蛍光抗体検査)
- 10.3 検体量の変更(乳がん HER2 遺伝子)、保存の変更(EGFR 遺伝変異解析(胸水、BALF)) 実施料の変更(UGT1A1、JAK2V617F/CALR 変異解析)
- 11.1 検査条件の追加(FRC、DLCO、CV)
- 11.2 検査項目の削除(イベント心電図検査)
- 11.4 検査項目の追加(体表超音波検査)

検査所要時間の変更(甲状腺・副甲状腺超音波検査、体表超音波検査、肝硬度測定)

11.6 検査項目の削除(24 時間血圧、酸素飽和度測定、内臓脂肪測定)

検査前の注意事項の追加(体液量測定)、検査条件の追加(終夜睡眠ポリグラフィー)

12.1 測定項目名の変更(網赤血球数)、網赤血球ヘモグロビン等量)

材料の変更(T-BIL、NH3、インフルエンザウイルス抗原定性、RS ウイルス抗原定性、ヒトメタニューモウイルス抗原定性)

容器の変更(マイコプラズマ抗体、プロカルシトニン)

- 12.2 測定項目の追加(新型コロナウイルス(遺伝子検査))
- 13 測定項目の追加(新型コロナウイルス(遺伝子検査))、測定項目の削除(IgM-HBc 抗体)、

測定項目の変更 (FT3、FT4)、材料の変更 (HbA1c、HbF、エンドトキシン定量、 β –D グルカン)

15 薬剤の追加(RFP、MNZ)、薬剤の削除(FMOX)、薬剤感受性系統の変更(ABPC) 20. 電子依頼の画面見本の追加 改版レビューの追加